

第Ⅲ部 要介護高齢者

第1章 要介護高齢者（本人） 調査結果

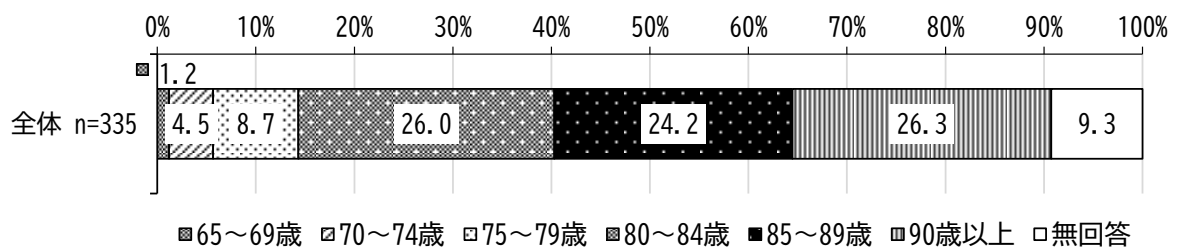
1 あて名のご本人について

本項目は、回答者の属性を把握するための項目となっています。

問1 以下はあて名のご本人についてお答えください。（令和7年12月1日現在でお答えください）

①年齢

年齢については、「90歳以上」が26.3%で最も高く、次いで「80～84歳」が26.0%、「85～89歳」が24.2%となっています。

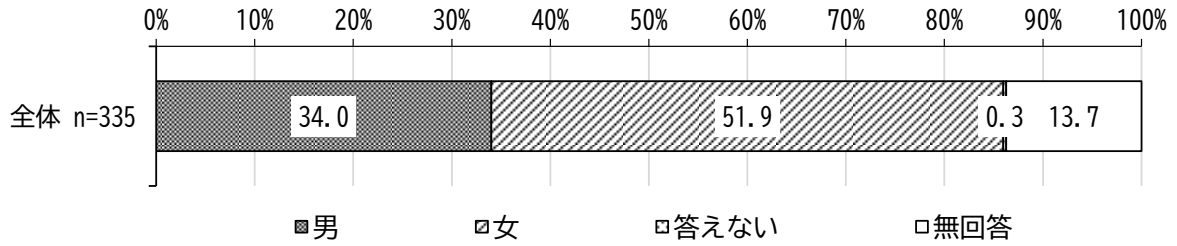


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体 n=335	1.2%	4.5%	8.7%	26.0%	24.2%	26.3%	9.3%
要介護1・2 n=197	2.0%	6.1%	11.2%	28.4%	23.9%	27.9%	0.5%
要介護3～5 n=87	0.0%	3.4%	5.7%	25.3%	32.2%	32.2%	1.1%

②性別

性別については、「男」が34.0%、「女」が51.9%、「答えない」が0.3%となっています。

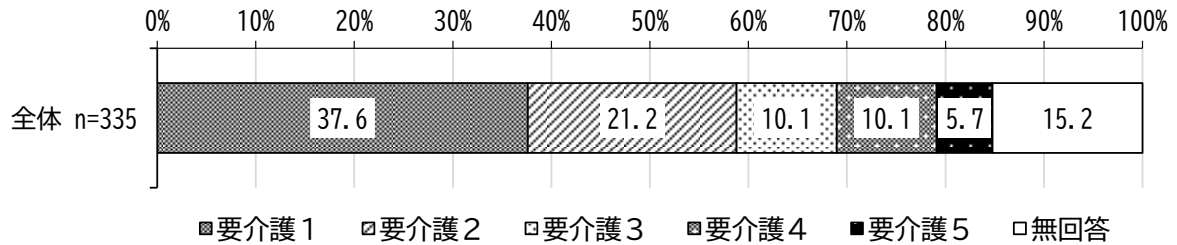


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	男	女	答えない	無回答
全体 n=335	34.0%	51.9%	0.3%	13.7%
要介護1・2 n=197	38.1%	58.9%	0.5%	2.5%
要介護3～5 n=87	39.1%	57.5%	0.0%	3.4%

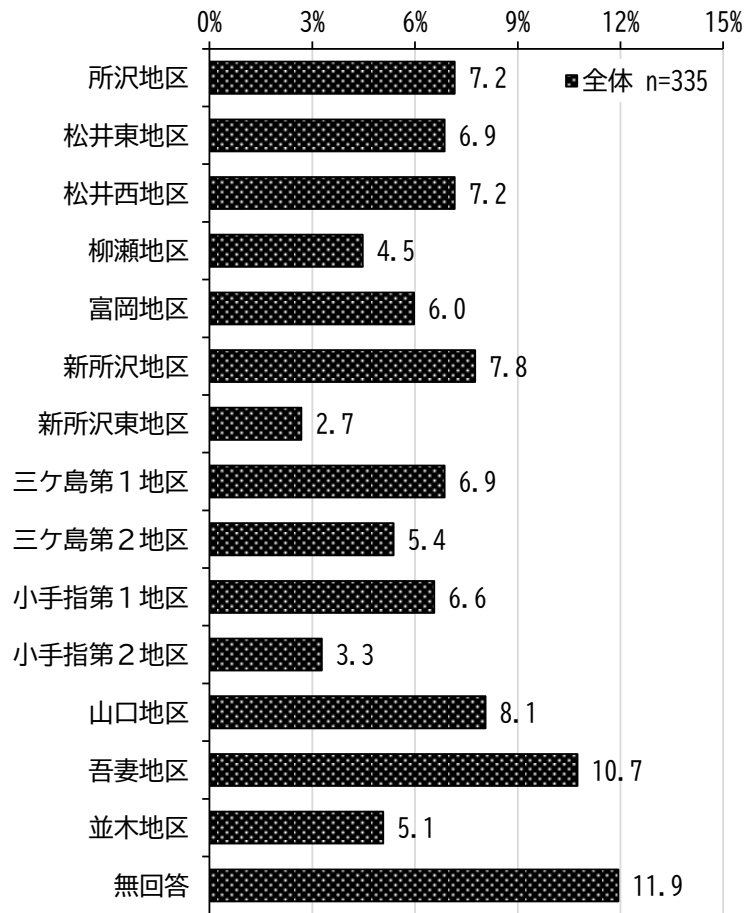
③要介護度

要介護度については、「要介護1」が37.6%で最も高く、次いで「要介護2」が21.2%、「要介護3」「要介護4」がともに10.1%となっています。



問2 お住まいの地区についてお答えください。

居住地区については、「吾妻地区」が10.7%で最も高く、次いで「山口地区」が8.1%、「新所沢地区」が7.8%となっています。

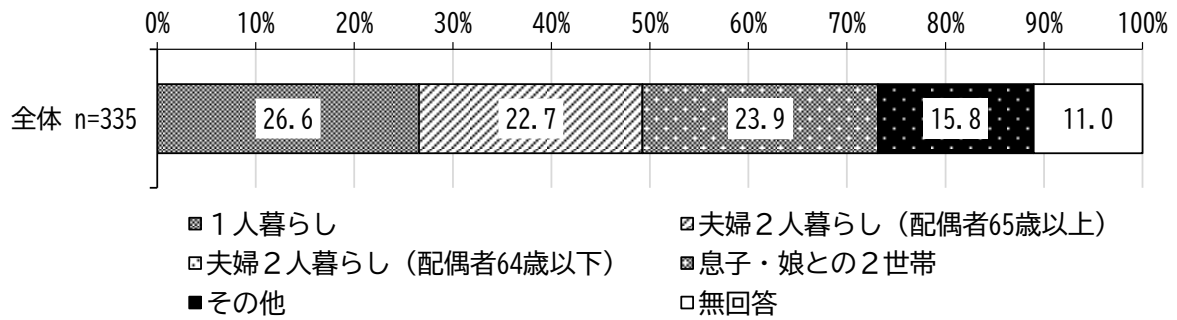


2 あなたのご家族や生活状況について

本項目は、家族構成、住まいの種類、現在の暮らしの経済状況を把握するための項目となっています。

問3 家族構成を教えてください。(回答は1つ) ★

家族構成については、「1人暮らし」が26.6%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が23.9%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が22.7%となっています。

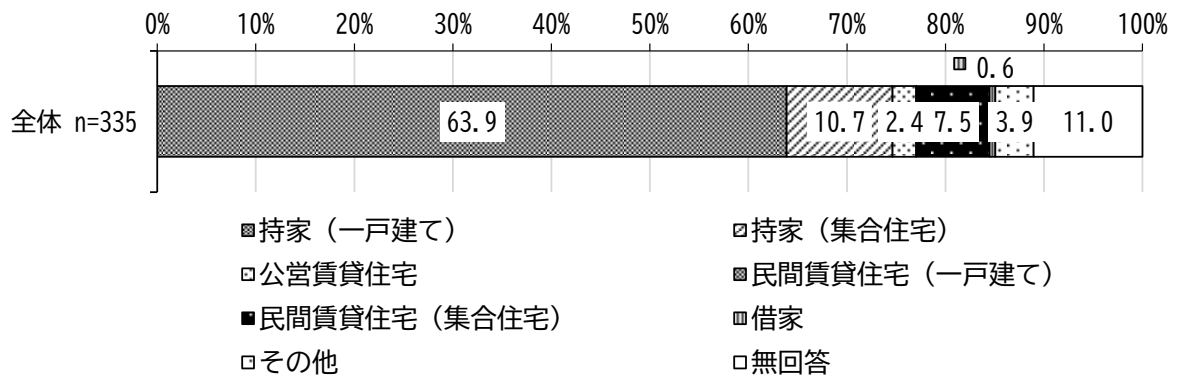


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体 n=335	26.6%	22.7%	0.0%	23.9%	15.8%	11.0%
要介護1・2 n=197	31.0%	26.4%	0.0%	25.4%	15.7%	1.5%
要介護3～5 n=87	18.4%	20.7%	0.0%	32.2%	21.8%	6.9%

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(回答は1つ) ★

住まいの種類については、「持家（一戸建て）」が63.9%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が10.7%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.5%となっています。

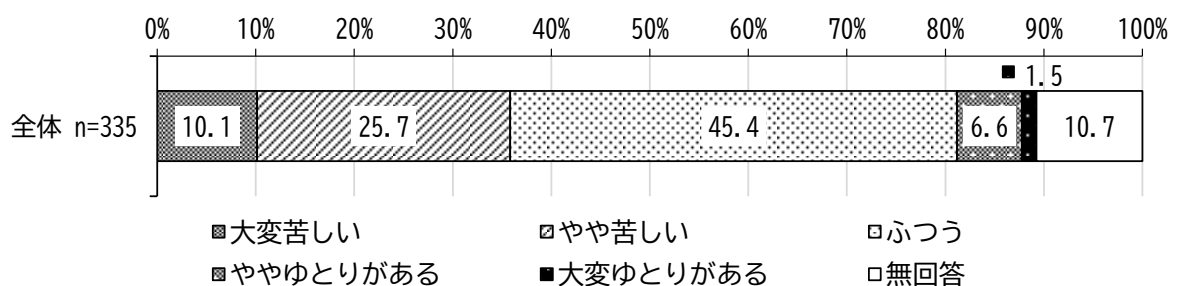


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体 n=335	63.9%	10.7%	2.4%	0.0%	7.5%	0.6%	3.9%	11.0%
要介護1・2 n=197	70.1%	10.2%	3.0%	0.0%	10.7%	0.5%	4.1%	1.5%
要介護3～5 n=87	72.4%	12.6%	1.1%	0.0%	4.6%	1.1%	2.3%	5.7%

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ) ★

現在の暮らしの経済状況については、「ふつう」が45.4%で最も高く、次いで「やや苦しい」が25.7%、「大変苦しい」が10.1%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体 n=335	10.1%	25.7%	45.4%	6.6%	1.5%	10.7%
要介護1・2 n=197	10.2%	24.4%	54.8%	8.1%	1.5%	1.0%
要介護3～5 n=87	12.6%	35.6%	39.1%	4.6%	1.1%	6.9%

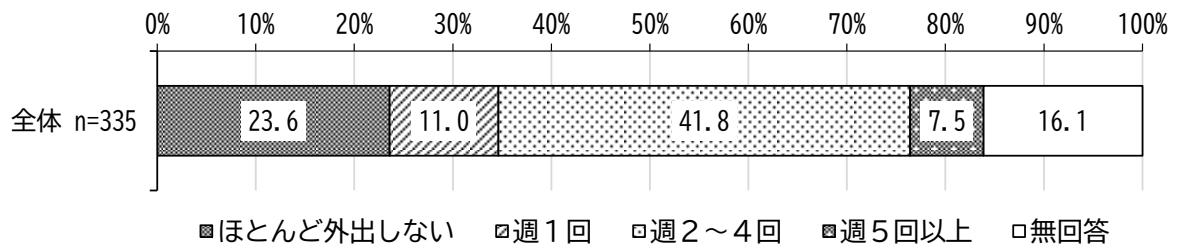
3

からだを動かすことについて

本項目は、外出の頻度、外出先、外出を控えている状況、外出時の移動手段などを把握するための項目となっています。

問6 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ) ★

1週間の外出頻度については、「週2～4回」が41.8%で最も高く、次いで「ほとんど外出しない」が23.6%、「週1回」が11.0%となっています。



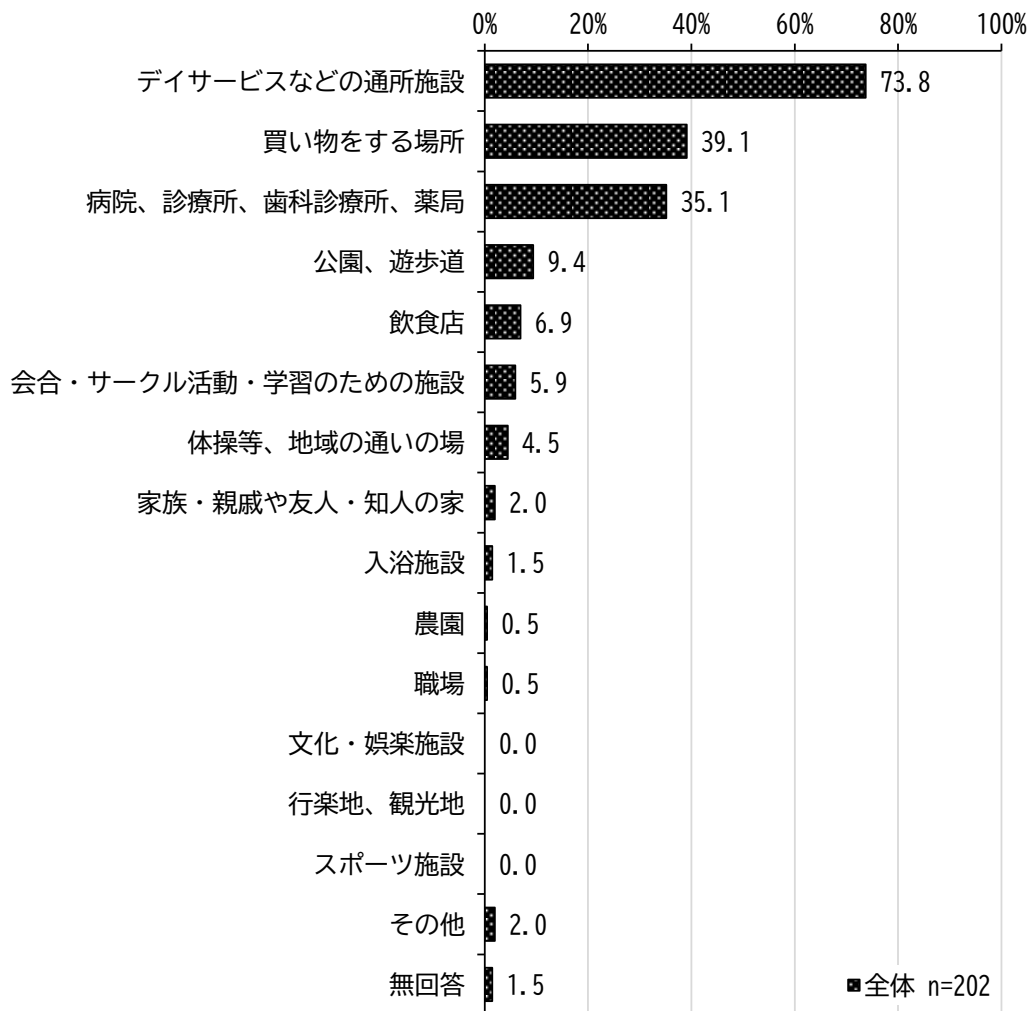
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体 n=335	23.6%	11.0%	41.8%	7.5%	16.1%
要介護1・2 n=197	20.3%	14.2%	48.2%	9.6%	7.6%
要介護3～5 n=87	37.9%	6.9%	41.4%	2.3%	11.5%

【問6で「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」と回答した方におたずねします。】

問6-1 外出をする際の主な行き先は、次のどれですか。(回答は3つまで)

主な外出先については、「デイサービスなどの通所施設」が73.8%で最も高く、次いで「買い物をする場所」が39.1%、「病院、診療所、歯科診療所、薬局」が35.1%となっています。



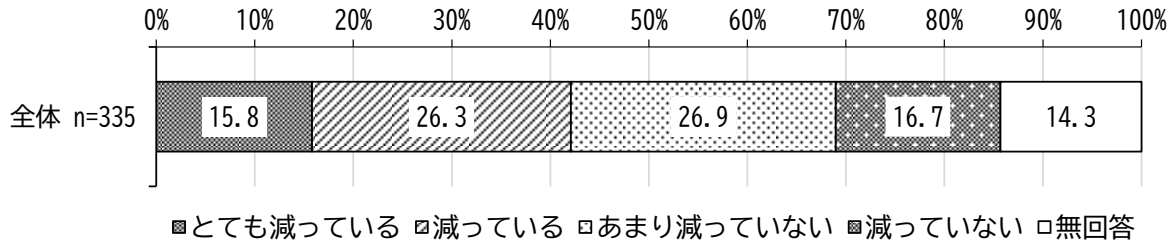
■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	デイサービスなどの通所施設	買い物をする場所	病院、診療所、歯科診療所、薬局	公園、遊歩道	飲食店	会合・サークル活動・学習のための施設	体操等、地域の通いの場	家族・親戚や友人・知人の家	入浴施設
全体 n=202	73.8%	39.1%	35.1%	9.4%	6.9%	5.9%	4.5%	2.0%	1.5%
要介護1・2 n=142	70.4%	42.3%	40.1%	10.6%	9.2%	7.7%	4.2%	2.8%	1.4%
要介護3～5 n=44	86.4%	18.2%	18.2%	4.5%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%

	農園	職場	文化・娯楽施設	行楽地、観光地	スポーツ施設	その他	無回答
全体 n=202	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.5%
要介護1・2 n=142	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	1.4%
要介護3～5 n=44	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%

問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ) ★

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「あまり減っていない」が26.9%で最も高く、次いで「減っている」が26.3%、「減っていない」が16.7%となっています。

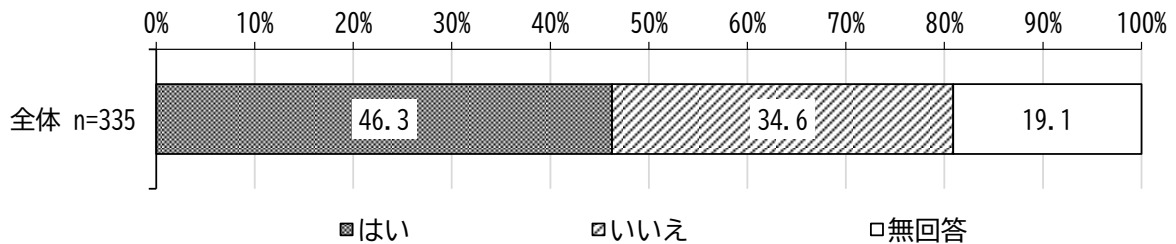


■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体 n=335	15.8%	26.3%	26.9%	16.7%	14.3%
要介護1・2 n=197	16.2%	29.4%	30.5%	20.3%	3.6%
要介護3～5 n=87	21.8%	24.1%	25.3%	16.1%	12.6%

問8 外出を控えていますか。(回答は1つ) ★

外出を控えているかについては、「はい」が46.3%、「いいえ」が34.6%と、「はい」が11.7ポイント上回っています。



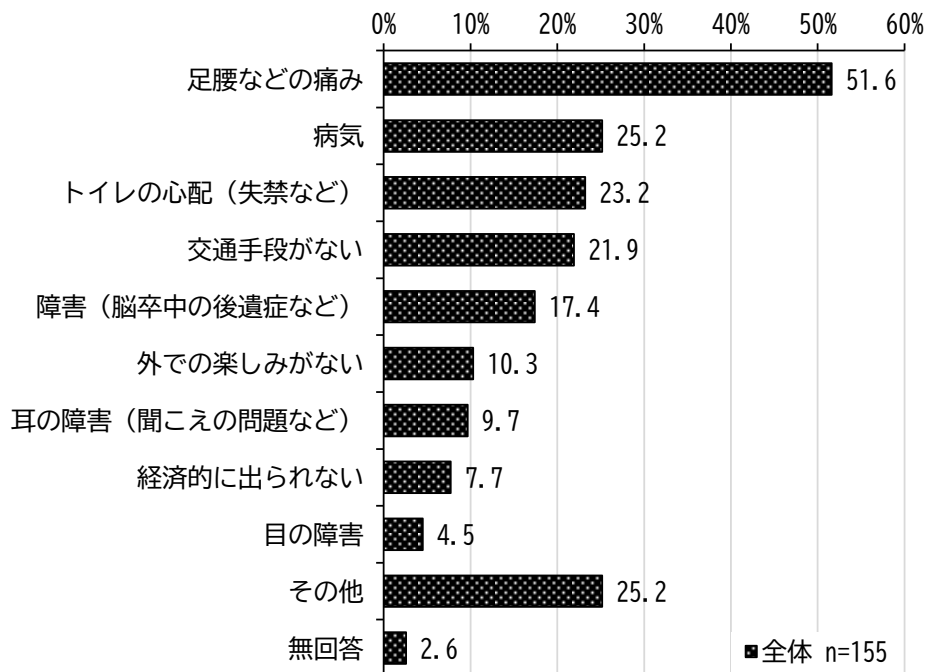
■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	はい	いいえ	無回答
全体 n=335	46.3%	34.6%	19.1%
要介護1・2 n=197	50.3%	42.1%	7.6%
要介護3～5 n=87	55.2%	25.3%	19.5%

【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が51.6%で最も高く、次いで「病気」が25.2%、「トイレの心配（失禁など）」が23.2%となっています。



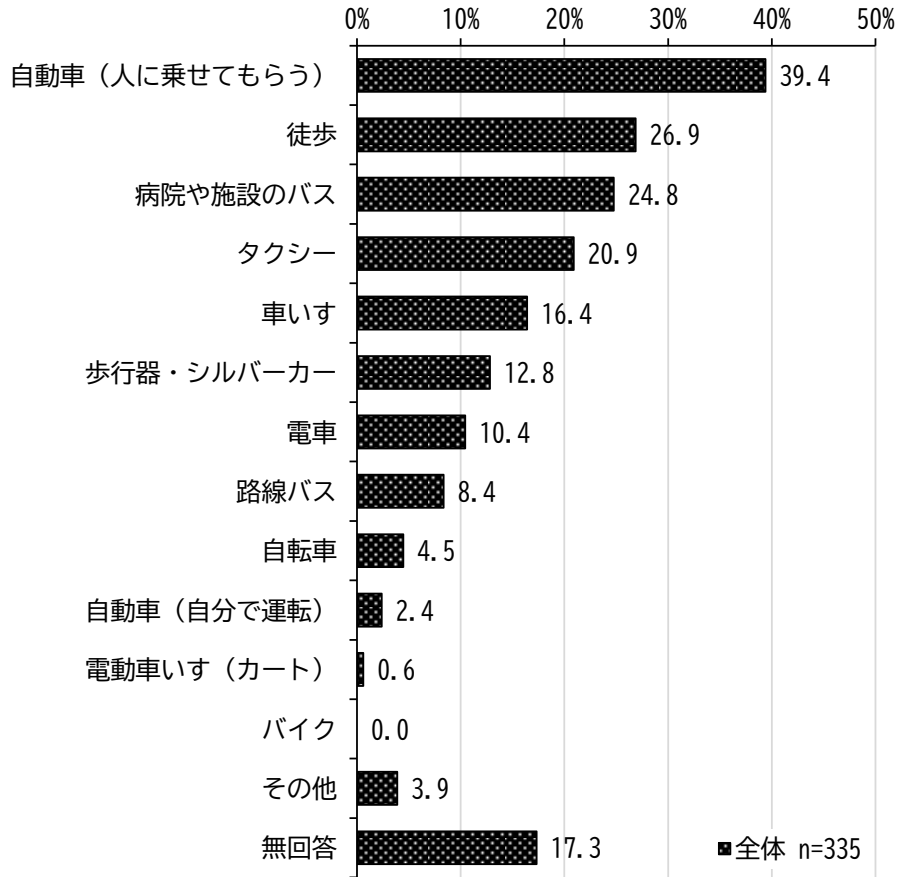
■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	足腰などの痛み	病気	トイレの心配 (失禁など)	交通手段がない	障害 (脳卒中の後遺症など)	外での楽しみがない	耳の障害 (聞こえの問題など)	経済的に出られない	目の障害
全体 n=155	51.6%	25.2%	23.2%	21.9%	17.4%	10.3%	9.7%	7.7%	4.5%
要介護1・2 n=99	52.5%	24.2%	23.2%	24.2%	11.1%	11.1%	10.1%	8.1%	4.0%
要介護3～5 n=48	50.0%	25.0%	25.0%	18.8%	31.3%	6.3%	10.4%	6.3%	6.3%

	その他	無回答
全体 n=155	25.2%	2.6%
要介護1・2 n=99	24.2%	3.0%
要介護3～5 n=48	31.3%	0.0%

問9 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出する際の移動手段については、「自動車（人に乗せてもらう）」が39.4%で最も高く、次いで「徒歩」が26.9%、「病院や施設のバス」が24.8%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	自動車（人に乗せてもらう）	徒歩	病院や施設のバス	タクシー	車いす	歩行器・シルバーカー	電車	路線バス	自転車
全体 n=335	39.4%	26.9%	24.8%	20.9%	16.4%	12.8%	10.4%	8.4%	4.5%
要介護1・2 n=197	50.8%	37.1%	24.9%	24.9%	10.7%	16.2%	13.7%	12.7%	6.6%
要介護3～5 n=87	26.4%	6.9%	33.3%	14.9%	35.6%	9.2%	0.0%	0.0%	1.1%

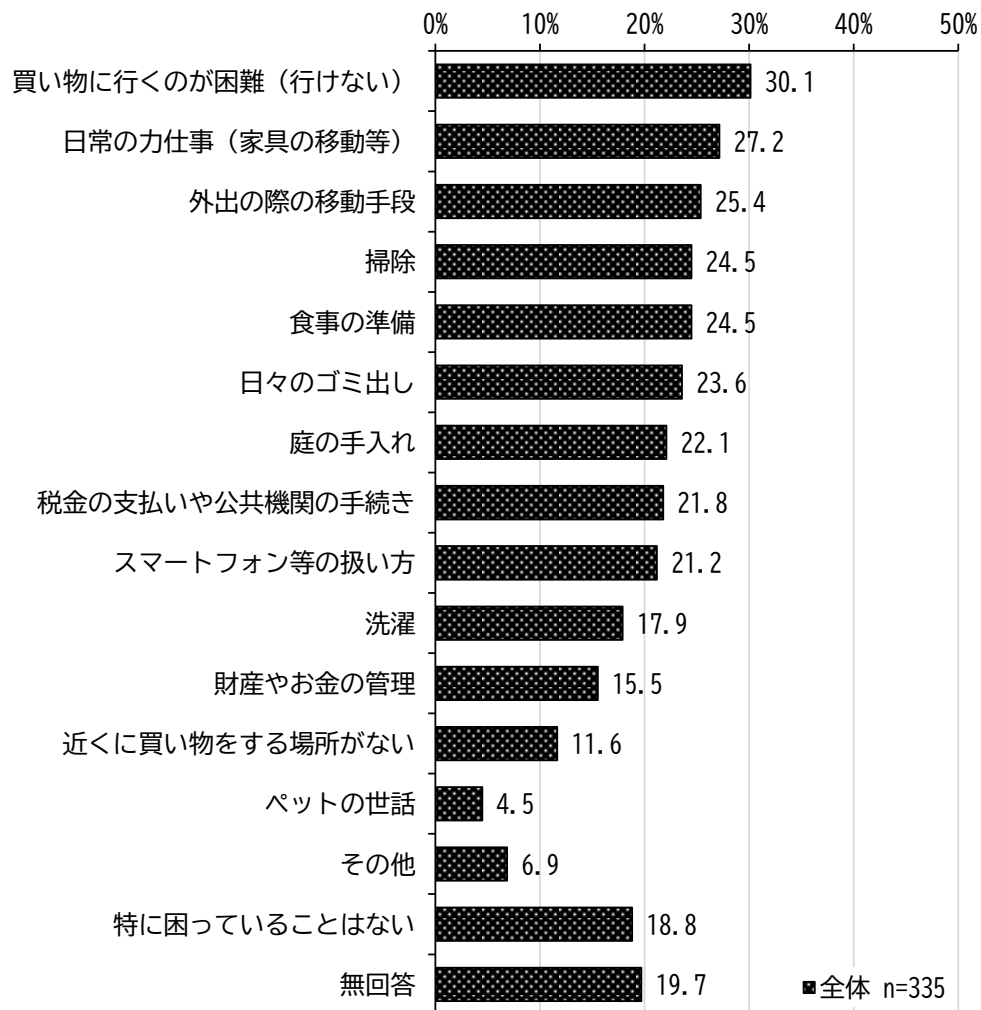
	自動車（自分で運転）	電動車いす（カート）	バイク	その他	無回答
全体 n=335	2.4%	0.6%	0.0%	3.9%	17.3%
要介護1・2 n=197	3.0%	0.5%	0.0%	4.6%	6.6%
要介護3～5 n=87	2.3%	1.1%	0.0%	4.6%	17.2%

4 毎日の生活について

本項目は、日常生活での困りごと、今後の生活で心配なことを把握するための項目となっています。

問10 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)

日常生活での困りごとについては、「買い物に行くのが困難（行けない）」が 30.1%で最も高く、次いで「日常の力仕事（家具の移動等）」が 27.2%、「外出の際の移動手段」が 25.4%となっています。



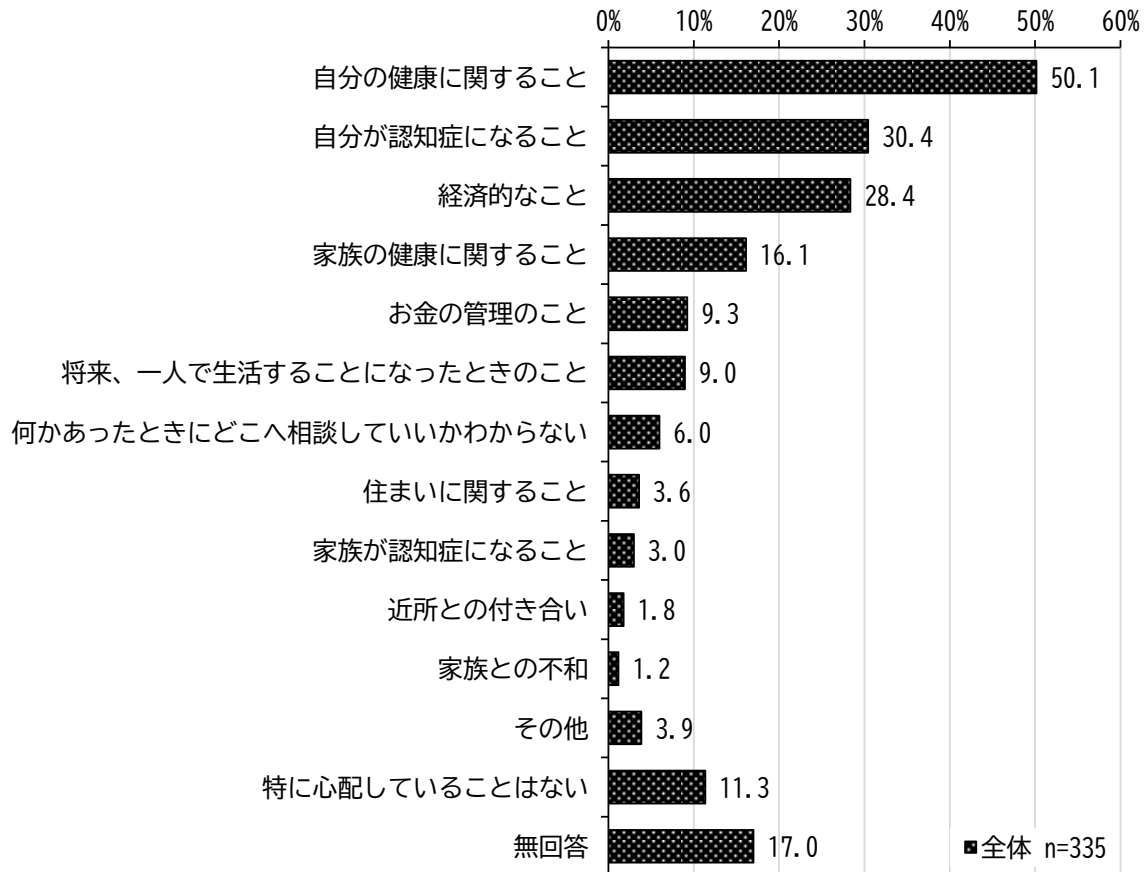
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	買い物に行くのが困難 (行けない)	日常の力仕事(家具の移動等)	外出の際の移動手段	掃除	食事の準備	日々のゴミ出し	庭の手入れ	税金の支払いや公共機関の手続き	スマートフォン等の扱い方
全体 n=335	30.1%	27.2%	25.4%	24.5%	24.5%	23.6%	22.1%	21.8%	21.2%
要介護1・2 n=197	36.0%	33.0%	28.9%	28.9%	29.9%	26.9%	24.9%	23.4%	27.4%
要介護3～5 n=87	26.4%	24.1%	28.7%	23.0%	24.1%	27.6%	25.3%	26.4%	16.1%

	洗濯	財産やお金の管理	近くに買い物をする場所がない	ペットの世話	その他	特に困っていることはない	無回答
全体 n=335	17.9%	15.5%	11.6%	4.5%	6.9%	18.8%	19.7%
要介護1・2 n=197	20.8%	18.3%	14.2%	6.6%	6.1%	20.8%	7.6%
要介護3～5 n=87	20.7%	17.2%	9.2%	2.3%	12.6%	17.2%	24.1%

問11 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分の健康に関すること」が50.1%で最も高く、次いで「自分が認知症になること」が30.4%、「経済的なこと」が28.4%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	自分の健康に関すること	自分が認知症になること	経済的なこと	家族の健康に関すること	お金の管理のこと	将来、一人で生活することになったときのこと	何かあったときにどこへ相談していいかわからない	住まいに関すること	家族が認知症になること
全体 n=335	50.1%	30.4%	28.4%	16.1%	9.3%	9.0%	6.0%	3.6%	3.0%
要介護1・2 n=197	58.9%	33.0%	31.5%	17.8%	12.7%	11.2%	7.1%	4.6%	4.1%
要介護3～5 n=87	46.0%	31.0%	31.0%	17.2%	4.6%	5.7%	2.3%	1.1%	1.1%

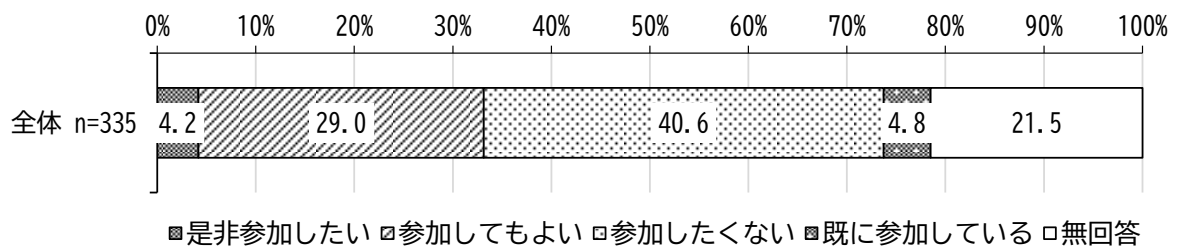
	近所との付き合い	家族との不和	その他	特に心配していることはない	無回答
全体 n=335	1.8%	1.2%	3.9%	11.3%	17.0%
要介護1・2 n=197	1.5%	1.0%	5.1%	10.2%	5.1%
要介護3～5 n=87	1.1%	2.3%	3.4%	18.4%	19.5%

5 地域の活動について

本項目は、地域の活動へ参加者として参加する意向、地域との関係に対する考え方を把握するための項目となっています。

問 12 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
 (回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が40.6%で最も高く、次いで「参加してもよい」が29.0%、「既に参加している」が4.8%となっています。

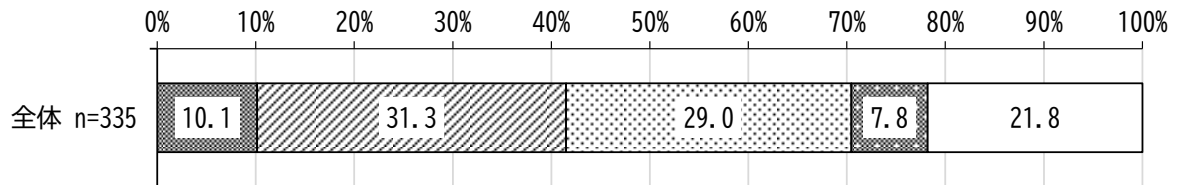


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体 n=335	4.2%	29.0%	40.6%	4.8%	21.5%
要介護1・2 n=197	3.6%	34.5%	46.2%	6.6%	9.1%
要介護3～5 n=87	6.9%	21.8%	46.0%	1.1%	24.1%

問 13 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)

地域との関係に対する考え方については、「いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい」が31.3%で最も高く、次いで「お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい」が29.0%、「お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい」が10.1%となっています。



- お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい
- いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい
- お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい
- かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい
- 無回答

■属性別クロス集計結果（要介護度別）

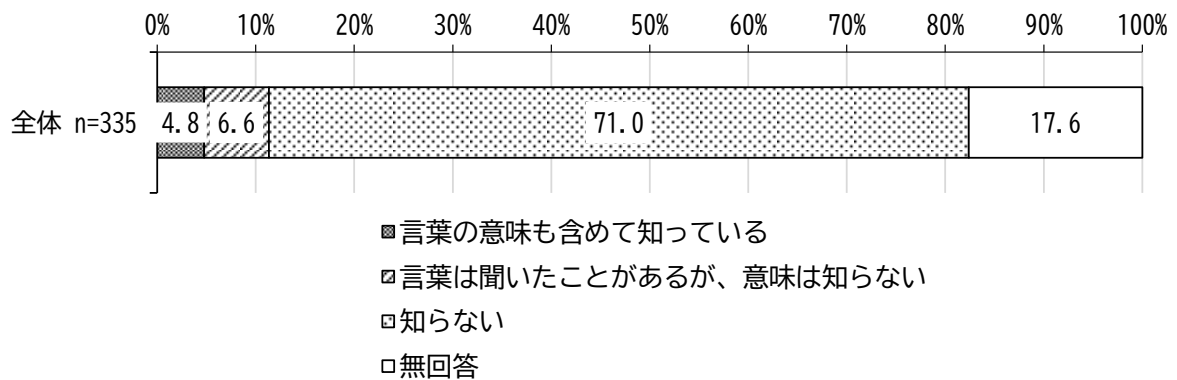
	お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい	いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい	お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい	かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい	無回答
全体 n=335	10.1%	31.3%	29.0%	7.8%	21.8%
要介護1・2 n=197	9.6%	40.6%	32.5%	8.1%	9.1%
要介護3～5 n=87	13.8%	20.7%	28.7%	10.3%	26.4%

6 健康について

本項目は、アドバンス・ケア・プランニングの認知度、終末期に希望する場所、終末期の在宅生活で不安を感じることを把握するための項目となっています。

問14 アドバンス・ケア・プランニング（ACP：愛称「人生会議」）を知っていますか。
 （回答は1つ）

アドバンス・ケア・プランニング（ACP：愛称「人生会議」）の認知度については、「知らない」が71.0%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が6.6%、「言葉の意味も含めて知っている」が4.8%となっています。

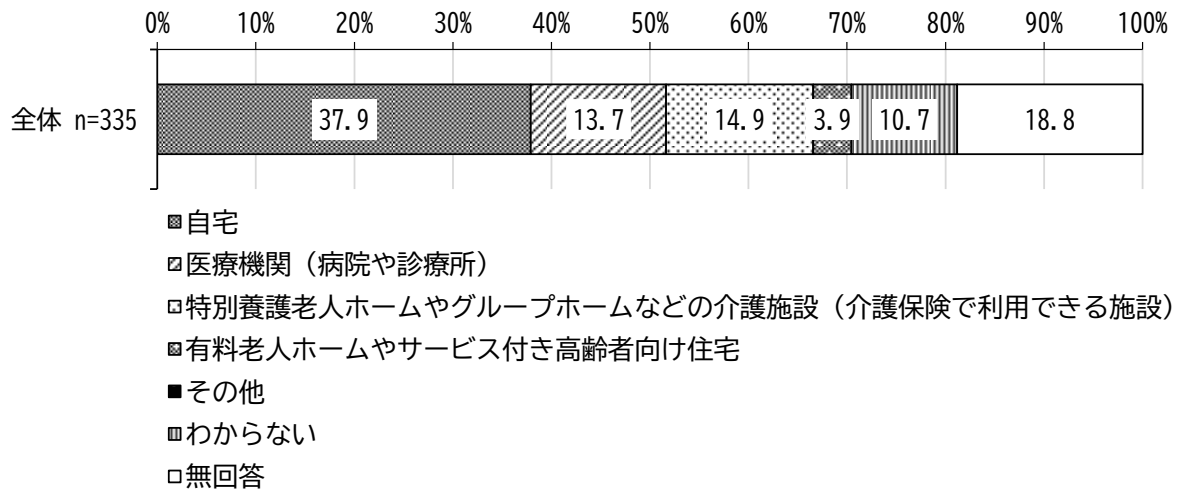


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	言葉の意味も含めて知っている	言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	知らない	無回答
全体 n=335	4.8%	6.6%	71.0%	17.6%
要介護1・2 n=197	5.1%	7.1%	81.2%	6.6%
要介護3～5 n=87	4.6%	6.9%	71.3%	17.2%

**問 15 終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）をどこで過ごしたいと思いますか。
（回答は1つ）**

終末期をどこで過ごしたいかについては、「自宅」が37.9%で最も高く、次いで「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設（介護保険で利用できる施設）」が14.9%、「医療機関（病院や診療所）」が13.7%となっています。



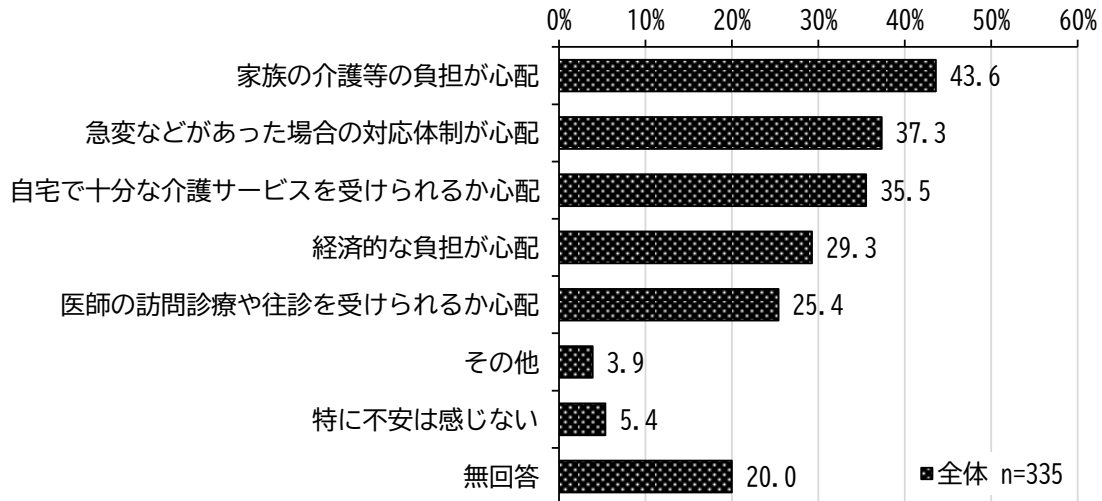
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	自宅	医療機関 (病院や診療所)	特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設 (介護保険で利用できる施設)	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	その他	わからない	無回答
全体 n=335	37.9%	13.7%	14.9%	3.9%	0.0%	10.7%	18.8%
要介護1・2 n=197	39.1%	16.8%	18.3%	5.1%	0.0%	13.7%	7.1%
要介護3～5 n=87	47.1%	10.3%	12.6%	3.4%	0.0%	5.7%	20.7%

問 16 終末期の在宅での生活について、どのようなことに不安を感じますか。

(あてはまるものすべてに回答)

終末期の在宅生活で不安に感じることについては、「家族の介護等の負担が心配」が43.6%で最も高く、次いで「急変などがあった場合の対応体制が心配」が37.3%、「自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配」が35.5%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	家族の介護等の負担が心配	急変などがあった場合の対応体制が心配	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配	経済的な負担が心配	医師の訪問診療や往診を受けられるか心配	その他	特に不安は感じない	無回答
全体 n=335	43.6%	37.3%	35.5%	29.3%	25.4%	3.9%	5.4%	20.0%
要介護1・2 n=197	47.7%	44.7%	42.1%	31.0%	31.5%	5.6%	5.6%	9.1%
要介護3～5 n=87	48.3%	33.3%	33.3%	29.9%	21.8%	1.1%	5.7%	20.7%

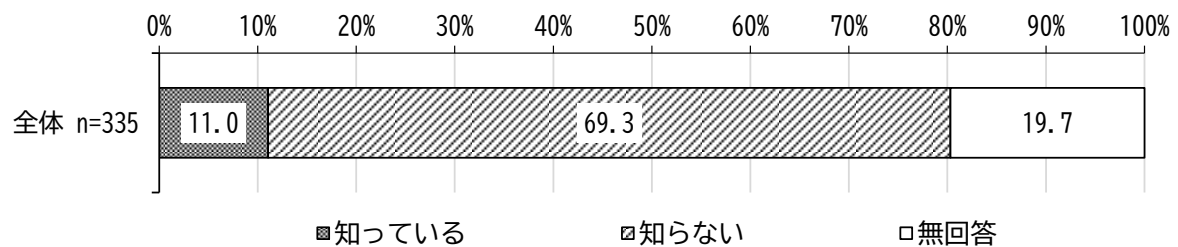
7 認知症施策について

本項目は、認知症施策等に係る認知度や地域での暮らしへの意向等を把握するための項目となっています。

問 17 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。
(それぞれ回答は1つ)

①「認知症の人や家族、地域の方などが集う場所やイベント」

認知症の人や家族、地域の方などが集う場所やイベントの認知度については、「知っている」が11.0%、「知らない」が69.3%と、「知らない」が58.3ポイント上回っています。

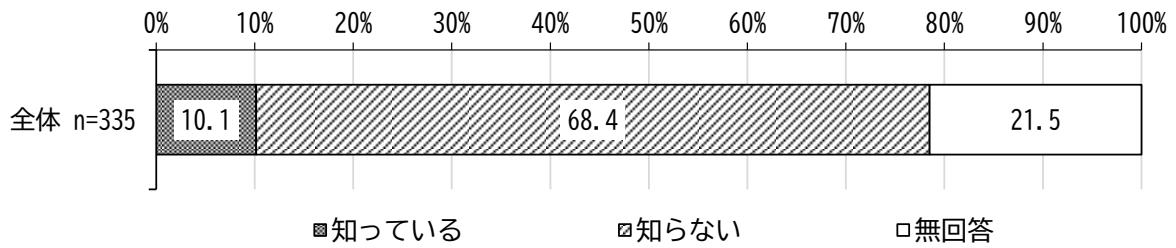


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	知っている	知らない	無回答
全体 n=335	11.0%	69.3%	19.7%
要介護1・2 n=197	11.7%	81.2%	7.1%
要介護3～5 n=87	14.9%	64.4%	20.7%

②「認知症サポーター」

認知症サポーターの認知度については、「知っている」が10.1%、「知らない」が68.4%と、「知らない」が58.3ポイント上回っています。

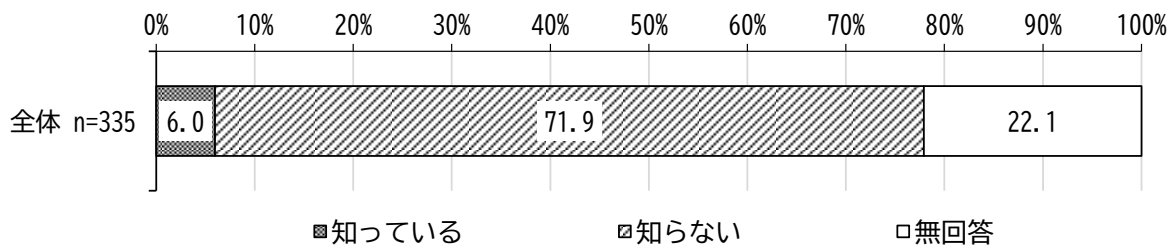


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	知っている	知らない	無回答
全体 n=335	10.1%	68.4%	21.5%
要介護1・2 n=197	12.2%	77.7%	10.2%
要介護3～5 n=87	9.2%	69.0%	21.8%

③「トコロんおかえりQR」

トコロんおかえりQRの認知度については、「知っている」が6.0%、「知らない」が71.9%と、「知らない」が65.9ポイント上回っています。

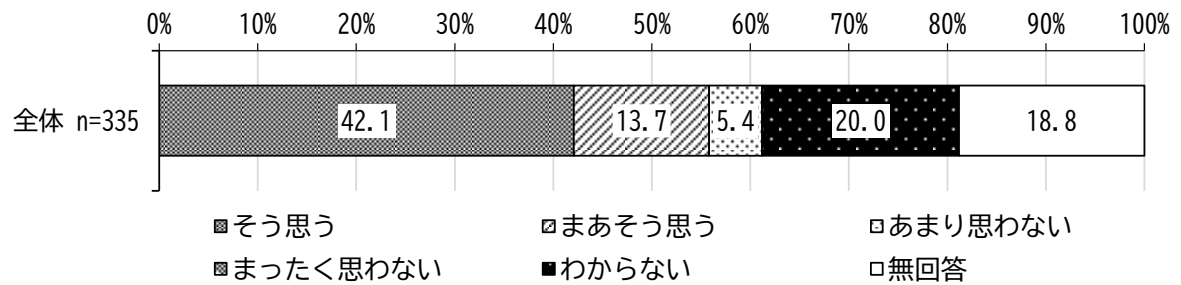


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	知っている	知らない	無回答
全体 n=335	6.0%	71.9%	22.1%
要介護1・2 n=197	7.6%	82.2%	10.2%
要介護3～5 n=87	4.6%	73.6%	21.8%

問 18 自分が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいですか。(回答は1つ)

自分が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいかについては、「そう思う」が42.1%で最も高く、次いで「わからない」が20.0%、「まあそう思う」が13.7%となっています。

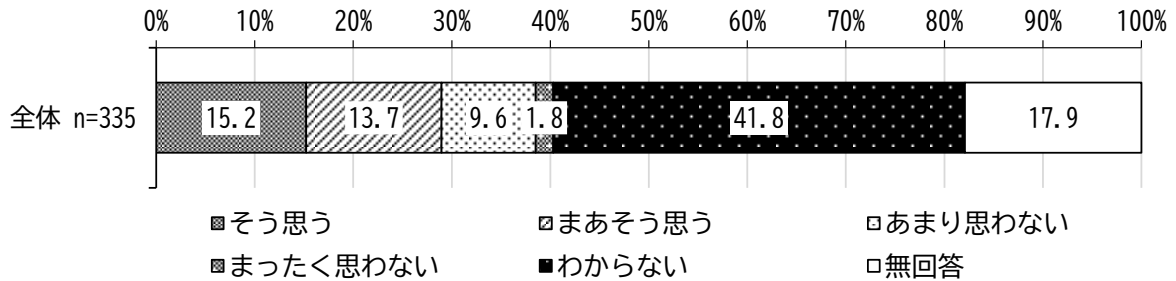


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
全体 n=335	42.1%	13.7%	5.4%	0.0%	20.0%	18.8%
要介護1・2 n=197	47.7%	17.3%	6.6%	0.0%	21.3%	7.1%
要介護3～5 n=87	42.5%	12.6%	4.6%	0.0%	20.7%	19.5%

問 19 自分が認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけるとおもいますか。
 (回答は1つ)

自分が認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけると思うかについては、「わからない」が41.8%で最も高く、次いで「そう思う」が15.2%、「まあそう思う」が13.7%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

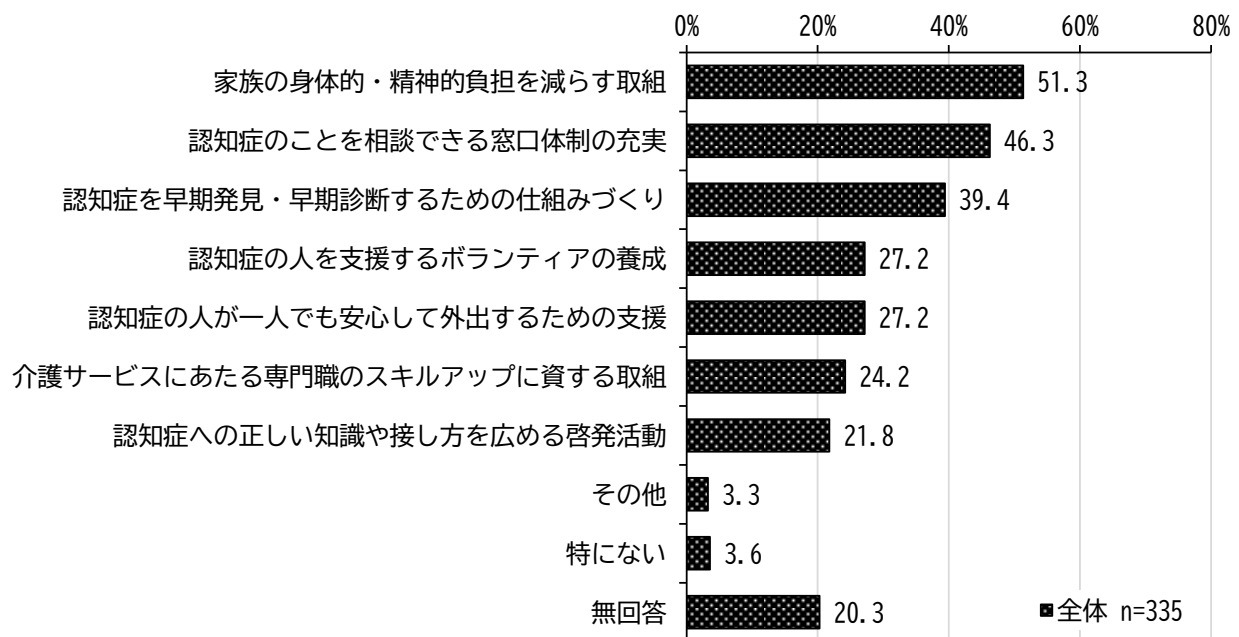
	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
全体 n=335	15.2%	13.7%	9.6%	1.8%	41.8%	17.9%
要介護1・2 n=197	18.3%	17.3%	10.7%	1.5%	46.2%	6.1%
要介護3～5 n=87	14.9%	11.5%	10.3%	3.4%	41.4%	18.4%

■設問間クロス集計結果（問18×問19）

		そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
全体 n=335		15.2%	13.7%	9.6%	1.8%	41.8%	17.9%
問18	そう思う n=141	33.3%	14.9%	10.6%	1.4%	39.7%	0.0%
	まあそう思う n=46	2.2%	45.7%	15.2%	2.2%	34.8%	0.0%
	あまり思わない n=18	11.1%	5.6%	33.3%	11.1%	33.3%	5.6%
	まったく思わない n=0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	わからない n=67	0.0%	4.5%	6.0%	1.5%	88.1%	0.0%

**問 20 認知症になったときに地域で安心して暮らすために、どのような施策があれば安心ですか。
(あてはまるものすべてに回答)**

認知症になったときに地域で安心して暮らすために、どのような施策があれば安心かについては、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が51.3%で最も高く、次いで「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」が46.3%、「認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり」が39.4%となっています。

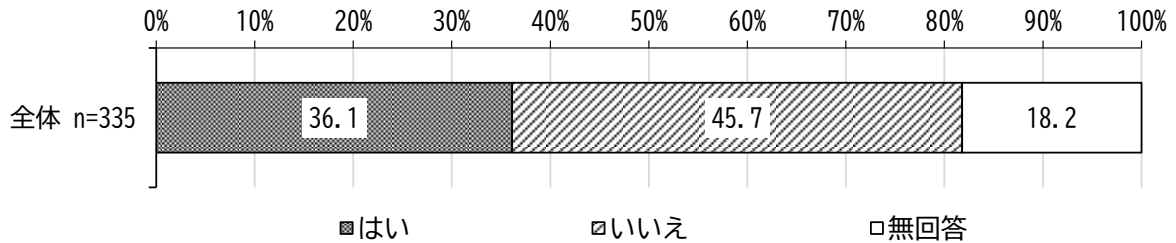


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	家族の身体的・精神的負担を減らす取組	認知症のことを相談できる窓口体制の充実	認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり	認知症の人を支援するボランティアの養成	認知症の人が一人でも安心して外出するための支援	介護サービスにあたる専門職のスキルアップに資する取組	認知症への正しい知識や接し方を広める啓発活動	その他	特にない	無回答
全体 n=335	51.3%	46.3%	39.4%	27.2%	27.2%	24.2%	21.8%	3.3%	3.6%	20.3%
要介護1・2 n=197	61.4%	55.3%	49.2%	30.5%	30.5%	27.9%	27.9%	3.0%	4.1%	8.6%
要介護3～5 n=87	48.3%	39.1%	31.0%	24.1%	24.1%	24.1%	12.6%	4.6%	2.3%	23.0%

問 21 あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいいますか。
 (回答は1つ) ★

自身に認知症の症状又は家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が 36.1%、「いいえ」が 45.7%と、「いいえ」が 9.6 ポイント上回っています。



■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	はい	いいえ	無回答
全体 n=335	36.1%	45.7%	18.2%
要介護 1・2 n=197	38.6%	54.3%	7.1%
要介護 3～5 n=87	41.4%	40.2%	18.4%

■設問間クロス集計結果 (問 18×問 21)

		はい	いいえ	無回答
全体 n=335		36.1%	45.7%	18.2%
問18	そう思う n=141	47.5%	51.1%	1.4%
	まあそう思う n=46	39.1%	60.9%	0.0%
	あまり思わない n=18	33.3%	66.7%	0.0%
	まったく思わない n=0	0.0%	0.0%	0.0%
	わからない n=67	41.8%	55.2%	3.0%

■設問間クロス集計結果 (問 19×問 21)

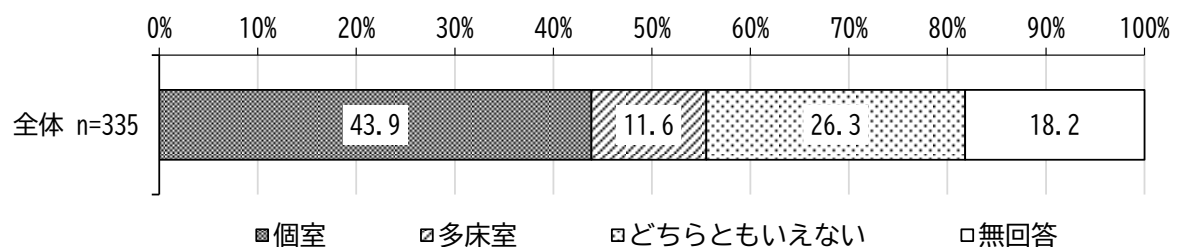
		はい	いいえ	無回答
全体 n=335		36.1%	45.7%	18.2%
問19	そう思う n=51	43.1%	52.9%	3.9%
	まあそう思う n=46	39.1%	60.9%	0.0%
	あまり思わない n=32	37.5%	59.4%	3.1%
	まったく思わない n=6	50.0%	50.0%	0.0%
	わからない n=140	45.7%	52.1%	2.1%

8 市の施策・事業、介護保険制度について

本項目は、自身が特別養護老人ホームに入所する場合の部屋の希望、介護の認定申請の理由、介護保険料への負担感、介護保険サービスと介護保険料との関係性に対する考え方、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス、市の独自制度（紙おむつ給付事業）に対する意向、紙おむつ給付の利用実績を把握するための項目となっています。

問 22 あなた自身が特別養護老人ホームに入所する場合、個室と多床室（2～4人の方が同室のタイプ）のどちらを希望しますか。（回答は1つ）

自身が特別養護老人ホームに入所する場合の部屋の希望については、「個室」が43.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.3%、「多床室」が11.6%となっています。

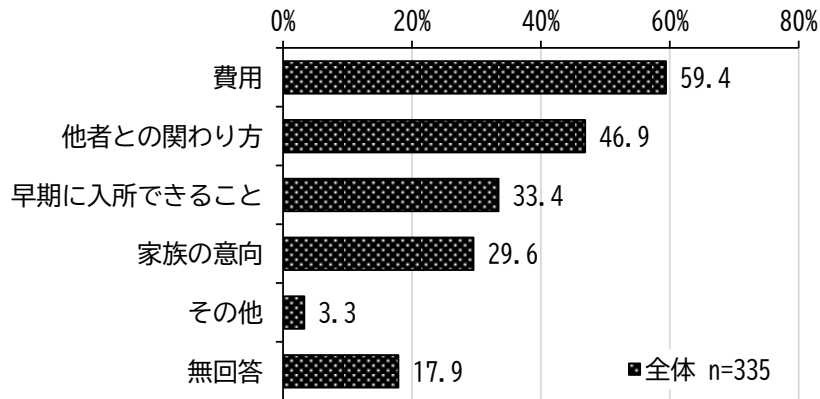


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	個室	多床室	どちらともいえない	無回答
全体 n=335	43.9%	11.6%	26.3%	18.2%
要介護1・2 n=197	50.8%	10.2%	32.0%	7.1%
要介護3～5 n=87	43.7%	18.4%	19.5%	18.4%

問 23 あなた自身が特別養護老人ホームに入所する場合、個室・多床室の選択にあたり、どのような点を重視しますか。(あてはまるものすべてに回答)

特別養護老人ホームに入所する場合、個室・多床室の選択にあたり、どのような点を重視するかについては、「費用」が59.4%で最も高く、次いで「他者との関わり方」が46.9%、「早期に入所できること」が33.4%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

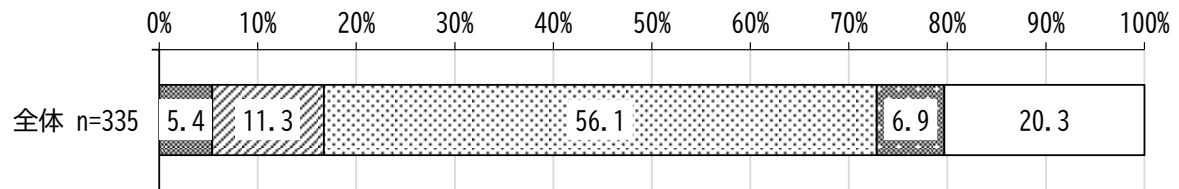
	費用	他者との関わり方	早期に入所できること	家族の意向	その他	無回答
全体 n=335	59.4%	46.9%	33.4%	29.6%	3.3%	17.9%
要介護1・2 n=197	67.5%	53.8%	35.5%	33.0%	4.6%	6.6%
要介護3～5 n=87	58.6%	48.3%	37.9%	31.0%	1.1%	17.2%

■設問間クロス集計結果（問22×問23）

		費用	他者との関わり方	早期に入所できること	家族の意向	その他	無回答
全体 n=335		59.4%	46.9%	33.4%	29.6%	3.3%	17.9%
問22	個室 n=147	68.7%	55.8%	42.2%	38.8%	3.4%	1.4%
	多床室 n=39	82.1%	69.2%	41.0%	28.2%	2.6%	0.0%
	どちらともいえない n=88	71.6%	53.4%	37.5%	33.0%	5.7%	1.1%

問 24 介護の認定申請を初めてした際の理由は何ですか。(回答は1つ)

初めて介護の認定申請をした際の理由については、「介護のサービスが必要だったため申請した」が56.1%で最も高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入を利用するために申請した」が11.3%、「その他」が6.9%となっています。



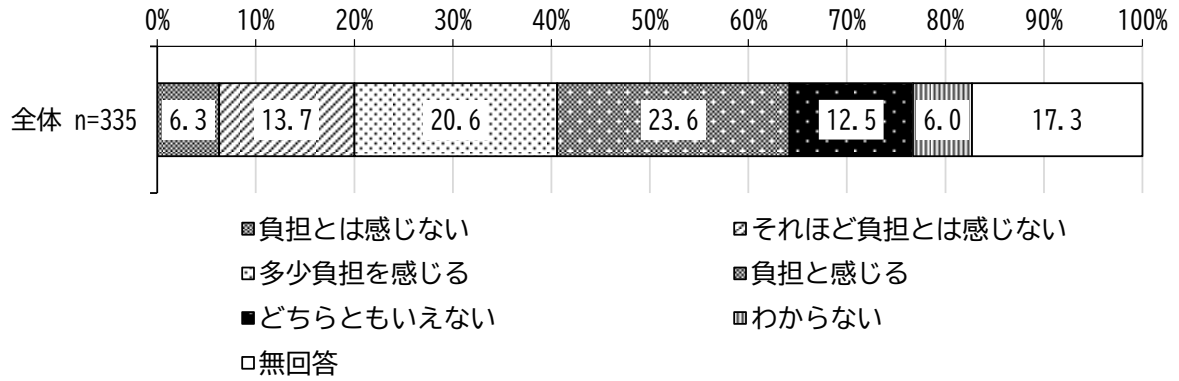
- 介護の必要はなかったが万が一のために申請した
- ▨ 住宅改修、福祉用具貸与・購入を利用するために申請した
- 介護のサービスが必要だったため申請した
- その他
- 無回答

■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	介護の必要はなかったが万が一のために申請した	住宅改修、福祉用具貸与・購入を利用するために申請した	介護のサービスが必要だったため申請した	その他	無回答
全体 n=335	5.4%	11.3%	56.1%	6.9%	20.3%
要介護1・2 n=197	7.6%	13.7%	61.4%	8.1%	9.1%
要介護3～5 n=87	2.3%	8.0%	66.7%	4.6%	18.4%

問 25 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)

介護保険料に対する負担感については、「負担と感じる」が23.6%で最も高く、次いで「多少負担を感じる」が20.6%、「それほど負担とは感じない」が13.7%となっています。

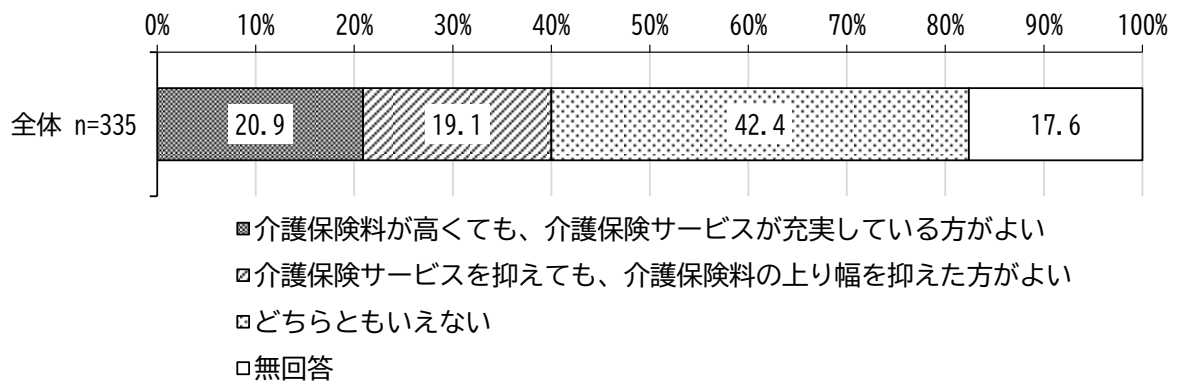


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	負担とは感じない	それほど負担とは感じない	多少負担を感じる	負担と感じる	どちらともいえない	わからない	無回答
全体 n=335	6.3%	13.7%	20.6%	23.6%	12.5%	6.0%	17.3%
要介護1・2 n=197	6.1%	18.3%	25.9%	23.9%	10.7%	9.1%	6.1%
要介護3～5 n=87	5.7%	9.2%	17.2%	32.2%	18.4%	1.1%	16.1%

問 26 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)

介護保険サービスと介護保険料との関係性に対する考え方については、「どちらともいえない」が42.4%で最も高く、次いで「介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方がよい」が20.9%、「介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方がよい」が19.1%となっています。

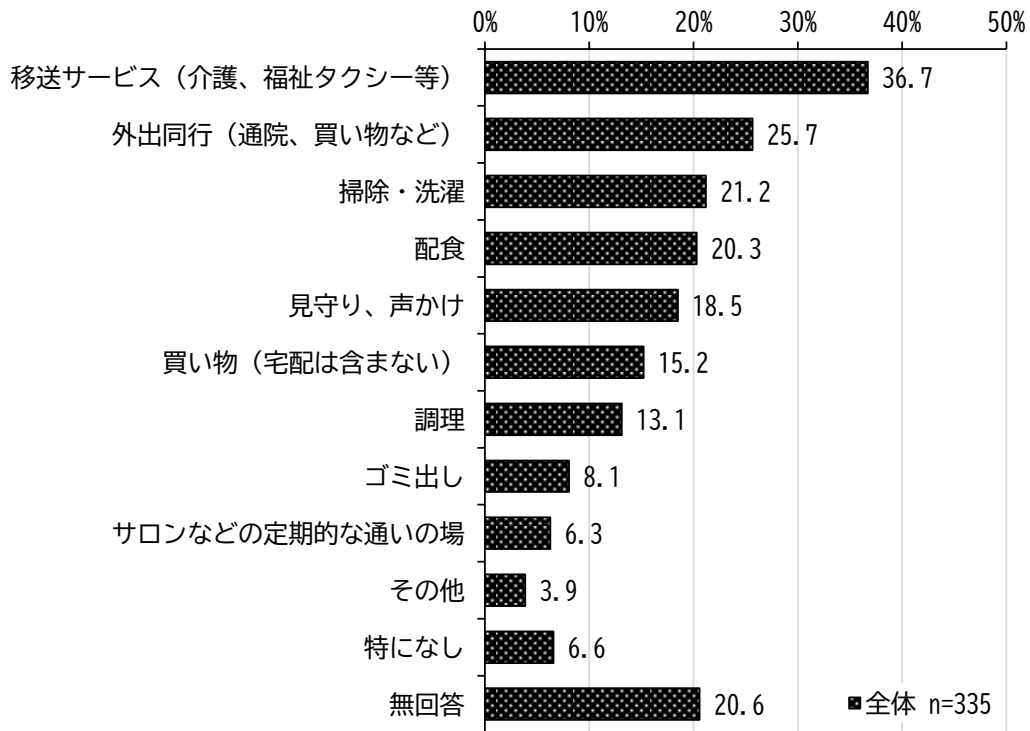


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方がよい	介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方がよい	どちらともいえない	無回答
全体 n=335	20.9%	19.1%	42.4%	17.6%
要介護1・2 n=197	26.9%	19.3%	47.2%	6.6%
要介護3～5 n=87	13.8%	23.0%	44.8%	18.4%

問 27 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてお答えください。（回答は3つまで）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」が36.7%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が25.7%、「掃除・洗濯」が21.2%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	移送サービス（介護、福祉タクシー等）	外出同行（通院、買い物など）	掃除・洗濯	配食	見守り、声かけ	買い物（宅配は含まない）	調理	ゴミ出し	サロンなどの定期的な通いの場
全体 n=335	36.7%	25.7%	21.2%	20.3%	18.5%	15.2%	13.1%	8.1%	6.3%
要介護1・2 n=197	41.6%	31.0%	22.8%	25.4%	22.8%	18.3%	14.7%	10.7%	7.1%
要介護3～5 n=87	40.2%	21.8%	24.1%	17.2%	13.8%	13.8%	14.9%	4.6%	8.0%

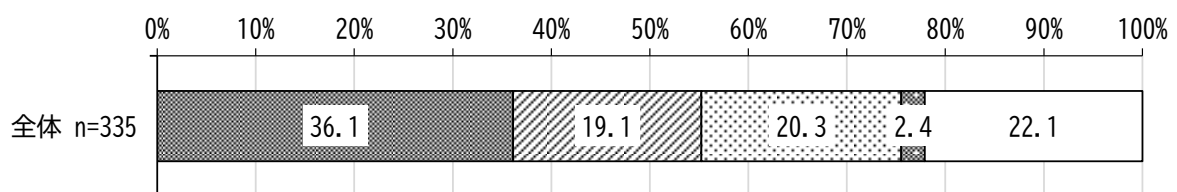
	その他	特になし	無回答
全体 n=335	3.9%	6.6%	20.6%
要介護1・2 n=197	3.0%	6.6%	8.6%
要介護3～5 n=87	8.0%	5.7%	21.8%

問 28 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象（一部支給要件有り）に、紙おむつ給付事業を実施しています。

令和2年度より国県等の補助がなくなったことから、現在は介護保険料を財源として実施していますが、紙おむつの支給額は年々増加傾向にあり、今後の介護保険料への影響が予想されます。

今後、紙おむつ給付事業をどのように実施していくべきだと思いますか。（回答は1つ）

今後、紙おむつ給付事業をどのように実施していくべきかについては、「介護保険料が上がっても、現行どおりの内容（上限5,600円/月）で継続した方がよい」が36.1%で最も高く、次いで「支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい」が20.3%、「介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい」が19.1%となっています。



- 介護保険料が上がっても、現行どおりの内容（上限5,600円/月）で継続した方がよい
- 介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい
- 支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい
- 国や県の補助がない以上、市の独自制度として実施する必要性は低い
- 無回答

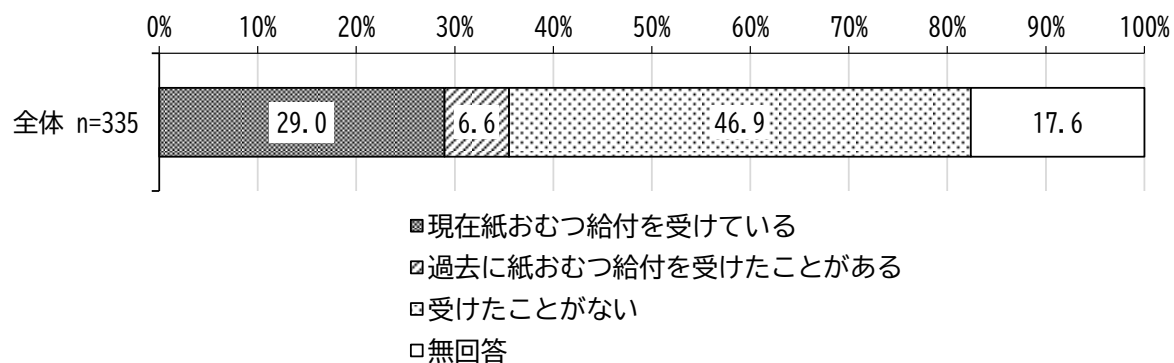
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	介護保険料が上がっても、現行どおりの内容（上限5,600円/月）で継続した方がよい	介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい	支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい	国や県の補助がない以上、市の独自制度として実施する必要性は低い	無回答
全体 n=335	36.1%	19.1%	20.3%	2.4%	22.1%
要介護1・2 n=197	41.6%	21.3%	22.8%	3.0%	11.2%
要介護3～5 n=87	34.5%	19.5%	21.8%	1.1%	23.0%

問 29 現在、または過去に介護保険制度の紙おむつ給付を受けたことがありますか。

(回答は1つ)

紙おむつ給付を受けたことがあるかについては、「受けたことがない」が46.9%で最も高く、次いで「現在紙おむつ給付を受けている」が29.0%、「過去に紙おむつ給付を受けたことがある」が6.6%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	現在紙おむつ給付を受けている	過去に紙おむつ給付を受けたことがある	受けたことがない	無回答
全体 n=335	29.0%	6.6%	46.9%	17.6%
要介護1・2 n=197	26.4%	4.6%	62.9%	6.1%
要介護3～5 n=87	46.0%	13.8%	20.7%	19.5%

第2章 要介護高齢者（介護者） 調査結果

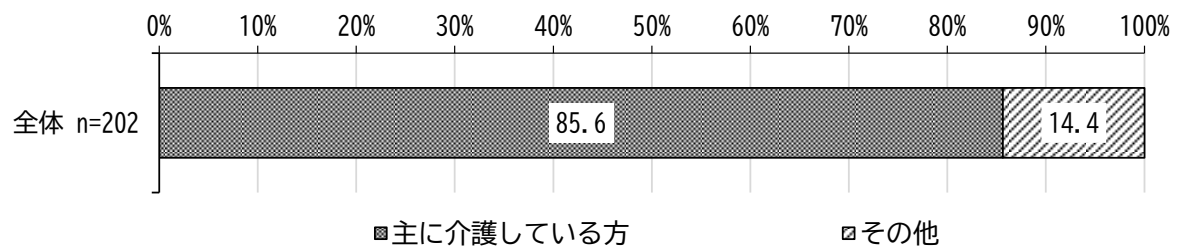
1 調査票を記入される方について

本調査は、調査対象者を介護している方の生活状況などを把握するために設けられた調査項目となります。

調査結果については、各設問にご回答いただいた方を母数として構成比を算出しています。

■調査票を記入されるのはどなたですか。（回答は1つ）

調査票を記入される方については、「主に介護している方」が85.6%、「その他」が14.4%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	主に介護している方	その他
全体 n=202	85.6%	14.4%
要介護1・2 n=128	86.7%	13.3%
要介護3～5 n=64	90.6%	9.4%

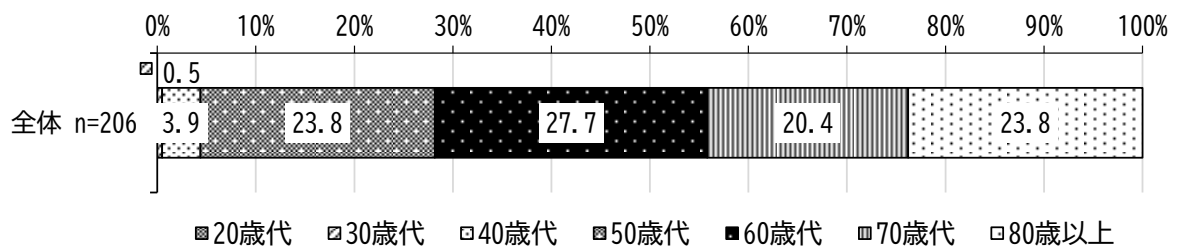
2 介護をしている方について

本項目は、介護をしている方の属性、介護をしている期間を把握するための項目となっています。

問1 以下は主に介護をしている方についてお答えください。
(令和7年12月1日現在でお答えください)

①年齢

年齢については、「60歳代」が27.7%で最も高く、次いで「50歳代」「80歳以上」がともに23.8%となっています。

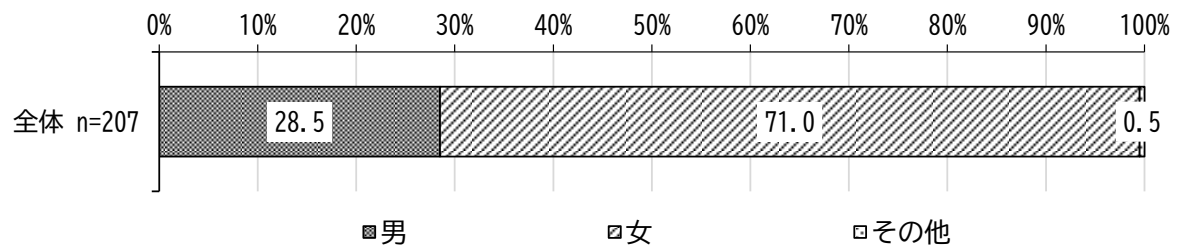


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体 n=206	0.0%	0.5%	3.9%	23.8%	27.7%	20.4%	23.8%
要介護1・2 n=133	0.0%	0.0%	2.3%	27.1%	27.8%	21.8%	21.1%
要介護3～5 n=62	0.0%	0.0%	6.5%	17.7%	30.6%	17.7%	27.4%

②性別

性別については、「男」が28.5%、「女」が71.0%、「その他」が0.5%となっています。

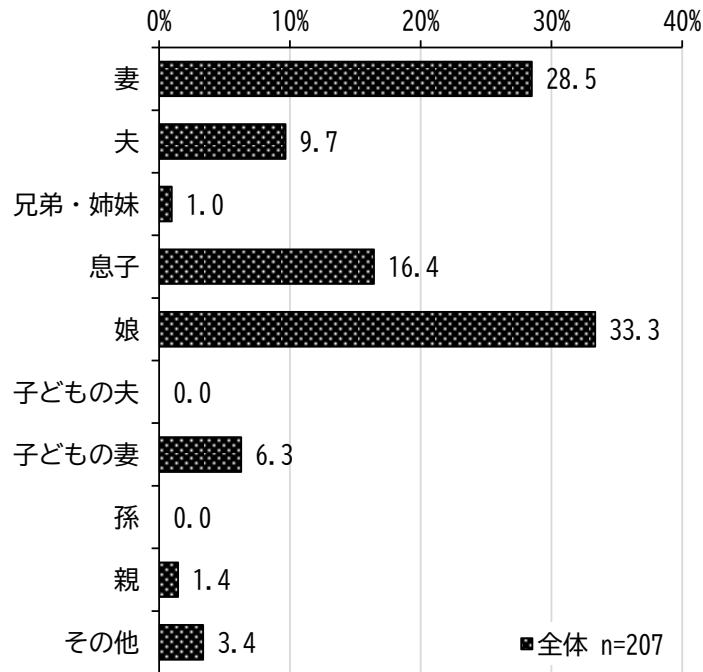


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	男	女	その他
全体 n=207	28.5%	71.0%	0.5%
要介護1・2 n=134	22.4%	77.6%	0.0%
要介護3～5 n=63	34.9%	63.5%	1.6%

問2 介護を受けている方からみたあなたの続柄をお答えください。(回答は1つ)

介護を受けている方からみたあなたの続柄については、「娘」が33.3%で最も高く、次いで「妻」が28.5%、「息子」が16.4%となっています。

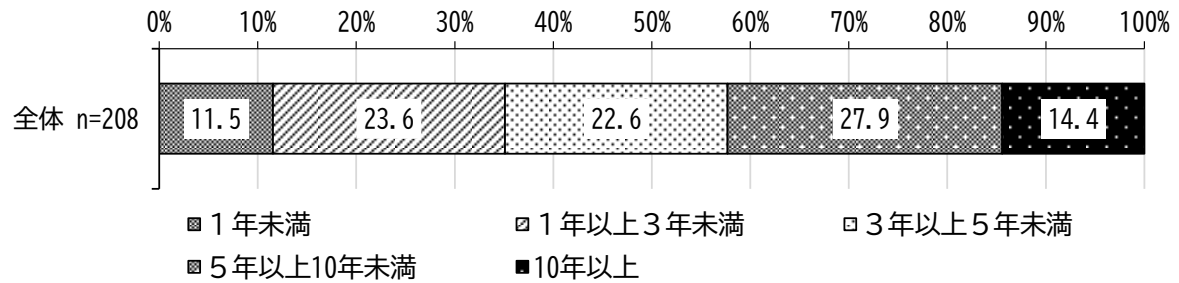


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	妻	夫	兄弟・姉妹	息子	娘	子どもの夫	子どもの妻	孫	親	その他
全体 n=207	28.5%	9.7%	1.0%	16.4%	33.3%	0.0%	6.3%	0.0%	1.4%	3.4%
要介護1・2 n=134	29.1%	7.5%	1.5%	12.7%	38.8%	0.0%	7.5%	0.0%	1.5%	1.5%
要介護3～5 n=62	27.4%	11.3%	0.0%	24.2%	24.2%	0.0%	4.8%	0.0%	1.6%	6.5%

問3 どのくらいの期間、介護をしていますか。(回答は1つ)

介護をしている期間については、「5年以上10年未満」が27.9%で最も高く、次いで「1年以上3年未満」が23.6%、「3年以上5年未満」が22.6%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

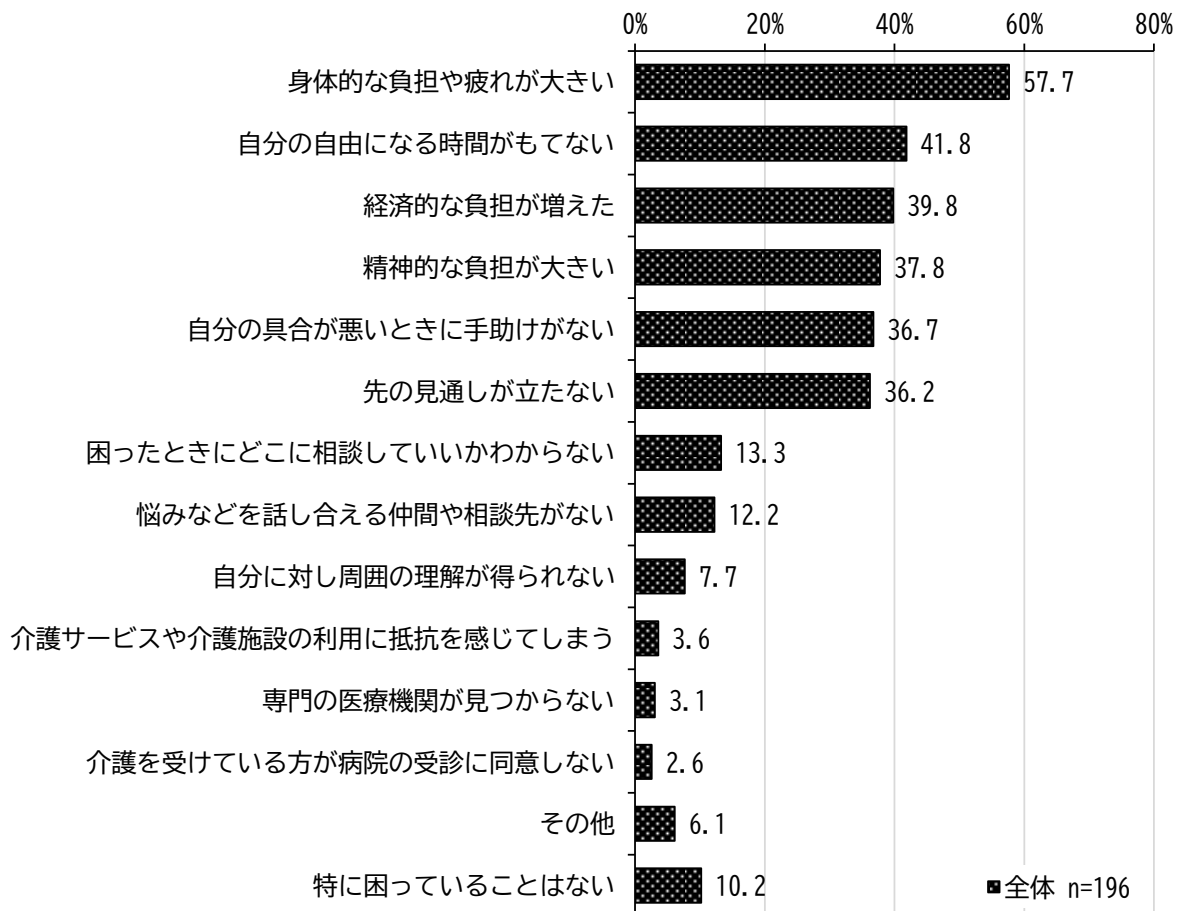
	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上
全体 n=208	11.5%	23.6%	22.6%	27.9%	14.4%
要介護1・2 n=135	13.3%	27.4%	21.5%	25.2%	12.6%
要介護3～5 n=62	6.5%	16.1%	24.2%	33.9%	19.4%

3 主に介護している方の生活状況について

本項目は、介護をするうえで困っていること、介護の相談相手、今後の生活で心配なこと、介護への負担感、介護を行ううえで必要と感じる支援を把握するための項目となっています。

問4 介護をするうえで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護をするうえで困っていることについては、「身体的な負担や疲れが大きい」が57.7%で最も高く、次いで「自分の自由になる時間がもてない」が41.8%、「経済的な負担が増えた」が39.8%となっています。



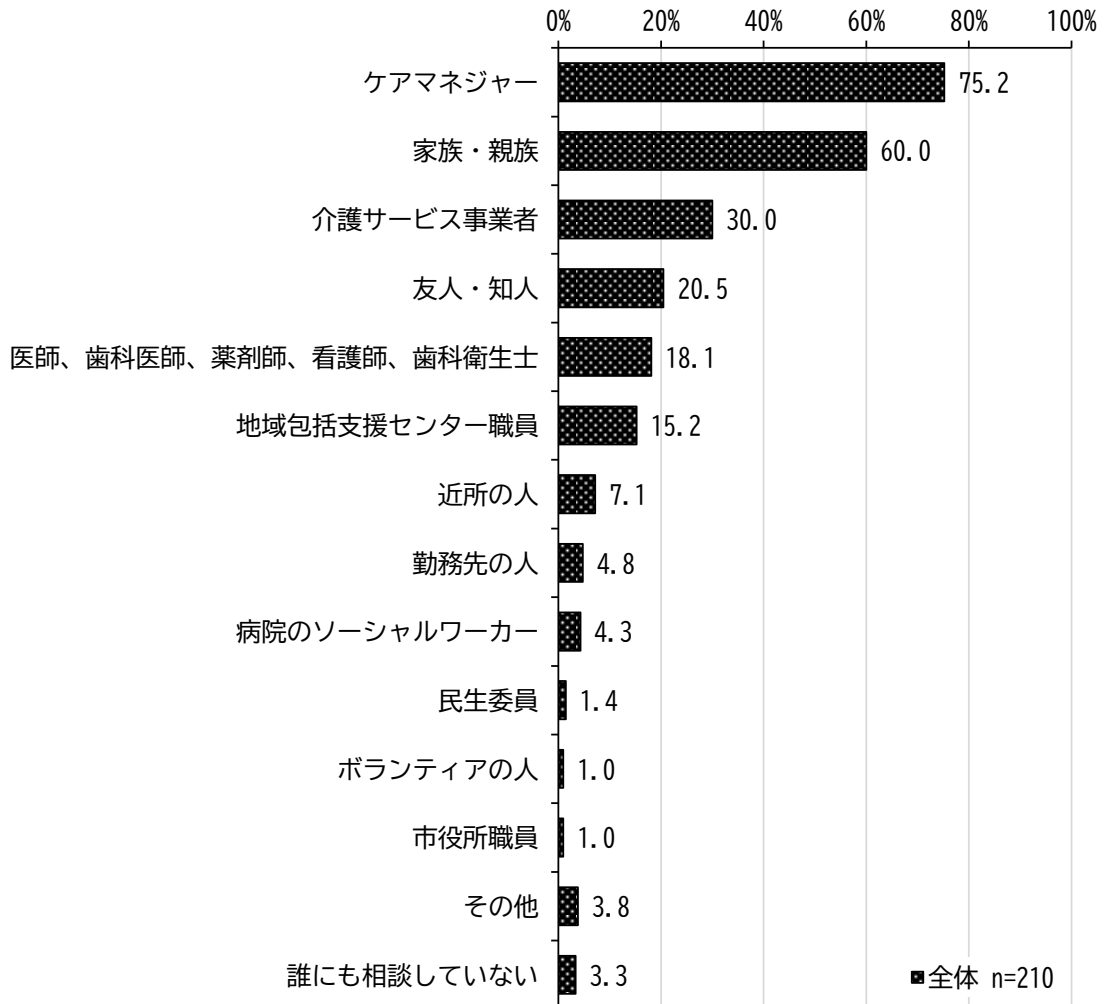
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	身体的な負担や疲れが大きい	自分の自由になる時間がもてない	経済的な負担が増えた	精神的な負担が大きい	自分の具合が悪いときに手助けがない	先の見通しが立たない	困ったときにどこに相談していいかわからない	悩みなどを話し合える仲間や相談先がない	自分に対し周囲の理解が得られない
全体 n=196	57.7%	41.8%	39.8%	37.8%	36.7%	36.2%	13.3%	12.2%	7.7%
要介護1・2 n=126	56.3%	35.7%	34.9%	38.1%	38.9%	40.5%	13.5%	12.7%	8.7%
要介護3～5 n=59	66.1%	55.9%	45.8%	40.7%	37.3%	30.5%	13.6%	11.9%	5.1%

	介護サービスや介護施設の利用に抵抗を感じてしまう	専門の医療機関が見つからない	介護を受けている方が病院の受診に同意しない	その他	特に困っていることはない
全体 n=196	3.6%	3.1%	2.6%	6.1%	10.2%
要介護1・2 n=126	4.8%	3.2%	1.6%	5.6%	8.7%
要介護3～5 n=59	0.0%	3.4%	5.1%	8.5%	8.5%

問5 介護について誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護の相談相手については、「ケアマネジャー」が75.2%で最も高く、次いで「家族・親族」が60.0%、「介護サービス事業者」が30.0%となっています。



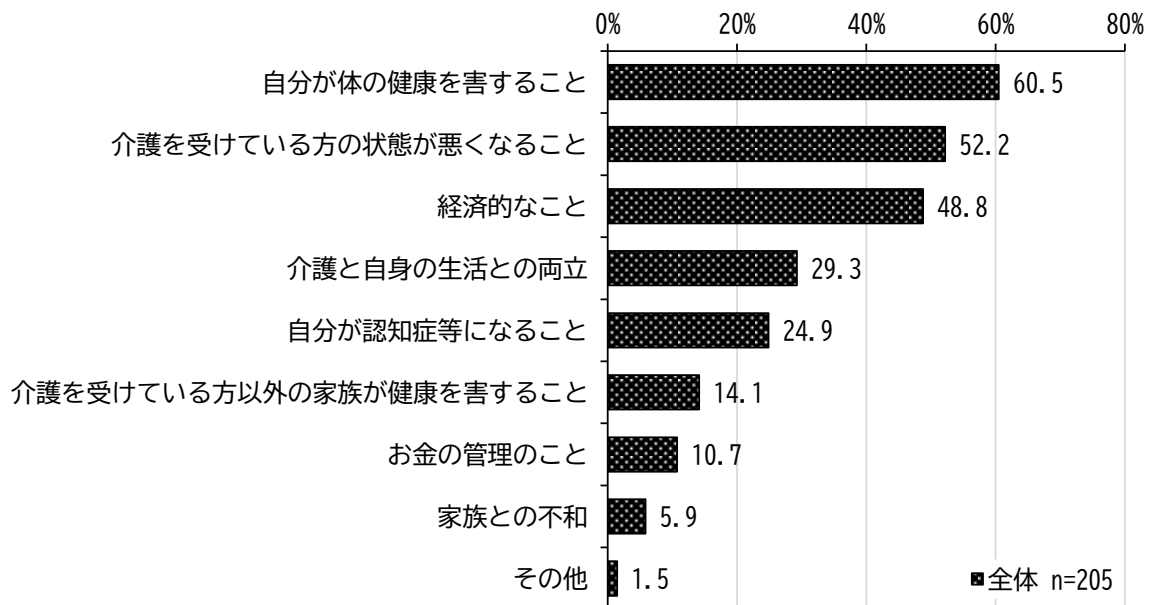
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	ケアマネジャー	家族・親族	介護サービス事業者	友人・知人	医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士	地域包括支援センター職員	近所の人	勤務先の人	病院のソーシャルワーカー
全体 n=210	75.2%	60.0%	30.0%	20.5%	18.1%	15.2%	7.1%	4.8%	4.3%
要介護1・2 n=136	75.7%	62.5%	26.5%	26.5%	20.6%	16.9%	10.3%	7.4%	2.2%
要介護3～5 n=63	77.8%	57.1%	38.1%	11.1%	14.3%	6.3%	0.0%	0.0%	7.9%

	民生委員	ボランティアの人	市役所職員	その他	誰にも相談していない
全体 n=210	1.4%	1.0%	1.0%	3.8%	3.3%
要介護1・2 n=136	1.5%	0.7%	0.7%	2.9%	1.5%
要介護3～5 n=63	0.0%	1.6%	1.6%	4.8%	6.3%

問6 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分が体の健康を害すること」が60.5%で最も高く、次いで「介護を受けている方の状態が悪くなること」が52.2%、「経済的なこと」が48.8%となっています。

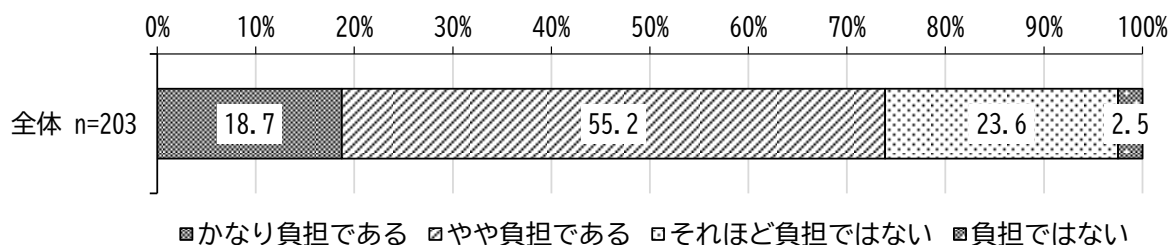


■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	自分が体の健康を害すること	介護を受けている方の状態が悪くなること	経済的なこと	介護と自身の生活との両立	自分が認知症等になること	介護を受けている方以外の家族が健康を害すること	お金の管理のこと	家族との不和	その他
全体 n=205	60.5%	52.2%	48.8%	29.3%	24.9%	14.1%	10.7%	5.9%	1.5%
要介護1・2 n=129	62.0%	55.0%	42.6%	32.6%	25.6%	15.5%	7.8%	5.4%	0.8%
要介護3～5 n=63	63.5%	47.6%	58.7%	28.6%	20.6%	12.7%	11.1%	6.3%	3.2%

問7 あなたが感じている介護の負担感はどの程度ですか。(回答は1つ)

介護の負担感については、「やや負担である」が55.2%で最も高く、次いで「それほど負担ではない」が23.6%、「かなり負担である」が18.7%となっています。



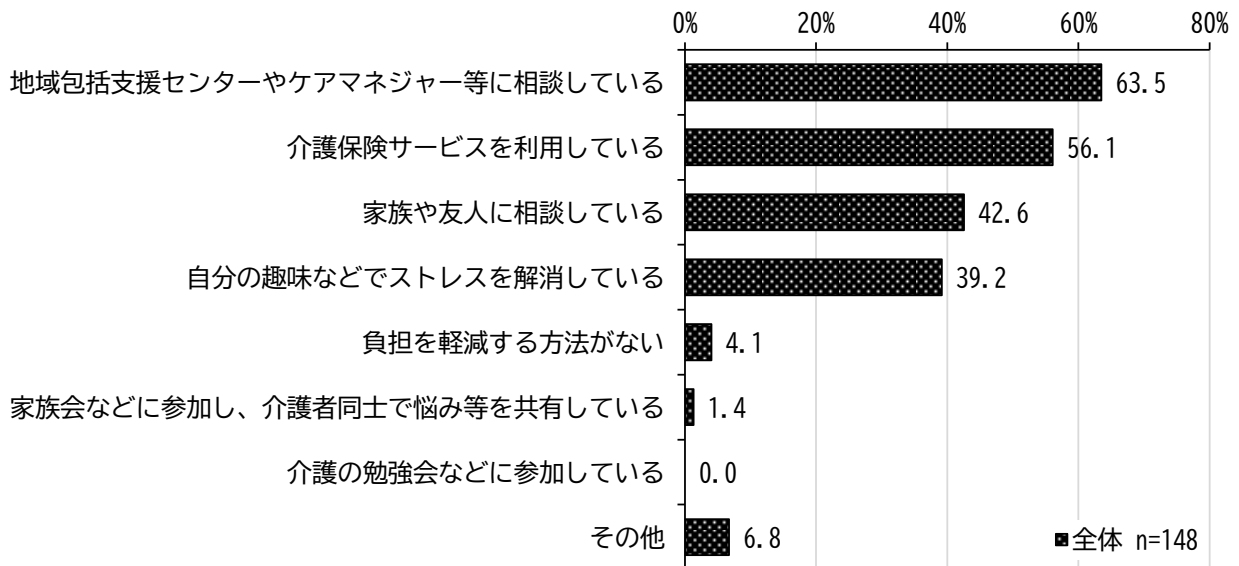
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	かなり負担である	やや負担である	それほど負担ではない	負担ではない
全体 n=203	18.7%	55.2%	23.6%	2.5%
要介護1・2 n=129	18.6%	54.3%	25.6%	1.6%
要介護3～5 n=62	19.4%	59.7%	19.4%	1.6%

【問7で「かなり負担である」、「やや負担である」と回答した方におたずねします。】

問7-1 介護の負担を軽減するために、普段どのようなことをされていますか。
(あてはまるものすべてに回答)

介護の負担を軽減するための取組については、「地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談している」が63.5%で最も高く、次いで「介護保険サービスを利用している」が56.1%、「家族や友人に相談している」が42.6%となっています。

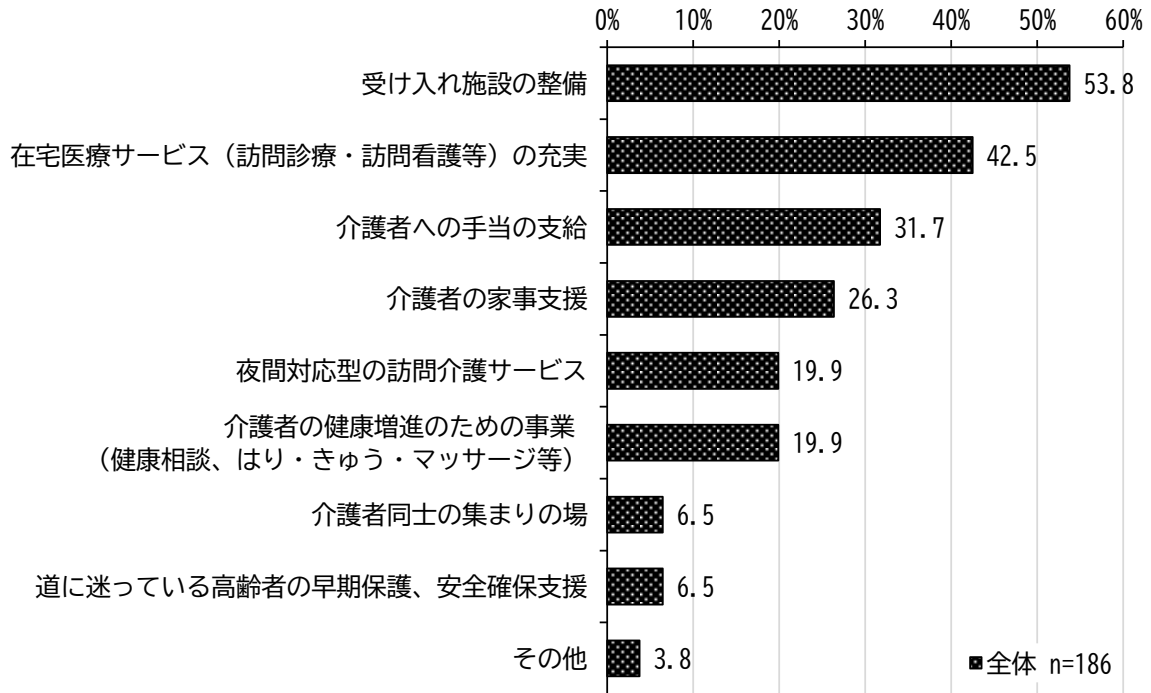


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談している	介護保険サービスを利用している	家族や友人に相談している	自分の趣味などでストレスを解消している	負担を軽減する方法がない	家族会などに参加し、介護者同士で悩み等を共有している	介護の勉強会などに参加している	その他
全体 n=148	63.5%	56.1%	42.6%	39.2%	4.1%	1.4%	0.0%	6.8%
要介護1・2 n=93	61.3%	58.1%	46.2%	44.1%	5.4%	2.2%	0.0%	3.2%
要介護3～5 n=48	66.7%	52.1%	39.6%	31.3%	2.1%	0.0%	0.0%	10.4%

問8 介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思いますか。(回答は3つまで)

介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思うかについては、「受け入れ施設の整備」が53.8%で最も高く、次いで「在宅医療サービス（訪問診療・訪問看護等）の充実」が42.5%、「介護者への手当の支給」が31.7%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

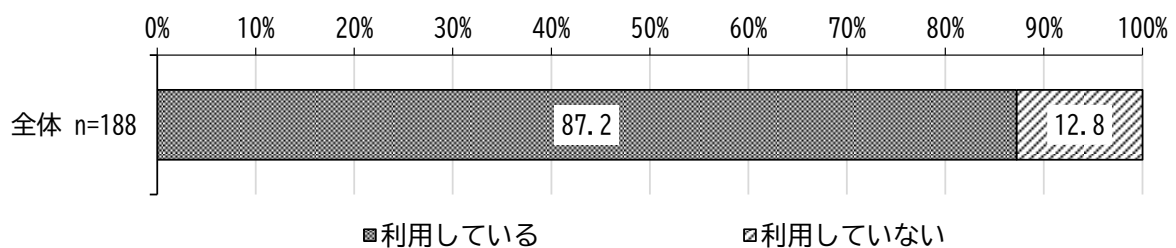
	受け入れ施設の整備	在宅医療サービス（訪問診療・訪問看護等）の充実	介護者への手当の支給	介護者の家事支援	夜間対応型の訪問介護サービス	介護者の健康増進のための事業（健康相談、はり・きゅう・マッサージ等）	介護者同士の集まりの場	道に迷っている高齢者の早期保護、安全確保支援	その他
全体 n=186	53.8%	42.5%	31.7%	26.3%	19.9%	19.9%	6.5%	6.5%	3.8%
要介護1・2 n=119	52.1%	41.2%	27.7%	27.7%	21.0%	20.2%	7.6%	5.9%	2.5%
要介護3～5 n=57	59.6%	43.9%	35.1%	22.8%	17.5%	19.3%	3.5%	1.8%	5.3%

4 市の施策・事業、介護保険制度について

本項目は、介護保険サービスの利用状況、介護保険サービスを利用した結果による状況、在宅における介護保険サービス事業者の選択状況、終末期に対する考え方、市の独自制度（紙おむつ給付事業、利用者負担助成金制度）に対する意向、高齢者の生活環境を整備するために必要だと思うサービスを把握するための項目となっています。

問9 介護を受けている方は、介護保険サービスを利用していますか。(回答は1つ)

介護を受けている方の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が87.2%、「利用していない」が12.8%と、「利用している」が74.4ポイント上回っています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

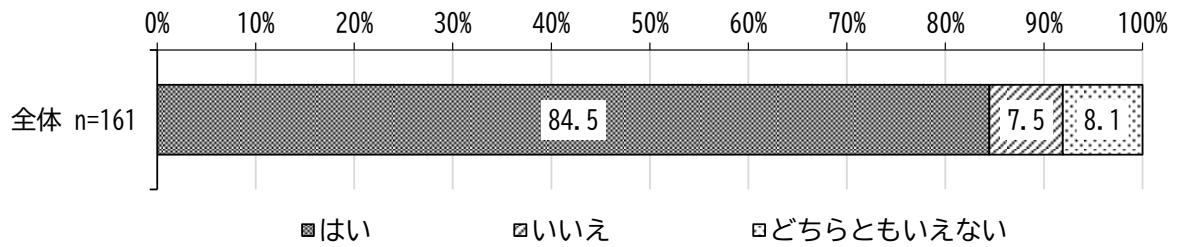
	利用している	利用していない
全体 n=188	87.2%	12.8%
要介護1・2 n=124	87.9%	12.1%
要介護3～5 n=59	88.1%	11.9%

【問9で「利用している」と回答した方におたずねします。】

問9-1 介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(回答はそれぞれの項目で1つ)

①サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか

サービス事業者や施設を選択できることを知っているかについては、「はい」が84.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が8.1%、「いいえ」が7.5%となっています。

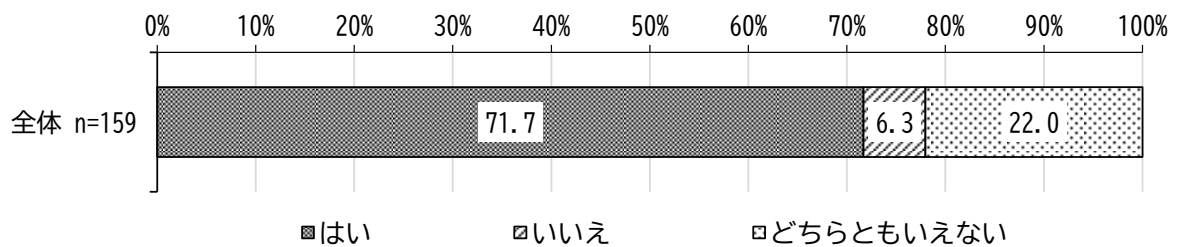


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=161	84.5%	7.5%	8.1%
要介護1・2 n=106	85.8%	6.6%	7.5%
要介護3～5 n=52	80.8%	9.6%	9.6%

②介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思うかについては、「はい」が71.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.0%、「いいえ」が6.3%となっています。

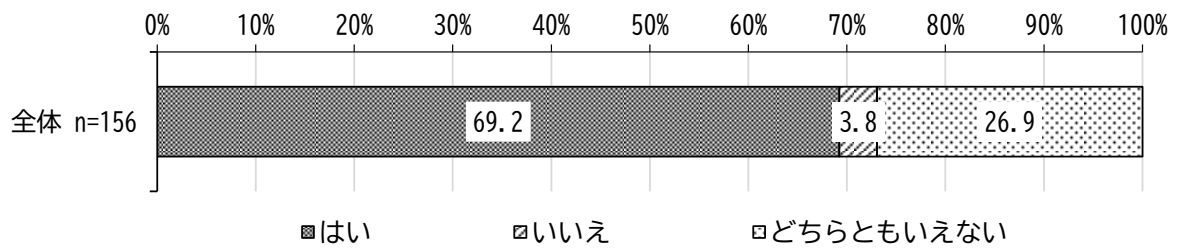


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=159	71.7%	6.3%	22.0%
要介護1・2 n=105	69.5%	8.6%	21.9%
要介護3～5 n=51	74.5%	2.0%	23.5%

③介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思うかについては、「はい」が69.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.9%、「いいえ」が3.8%となっています。

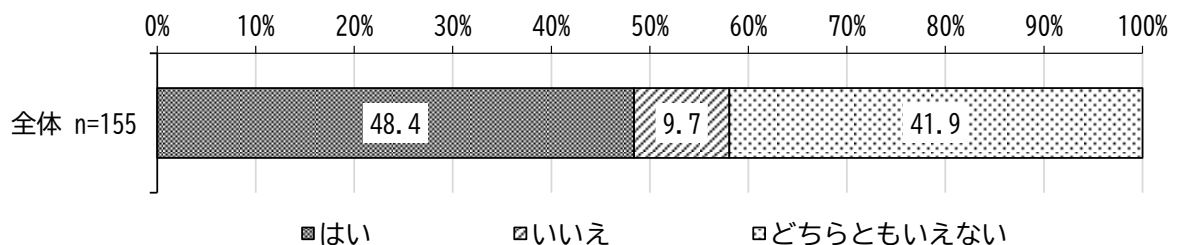


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=156	69.2%	3.8%	26.9%
要介護1・2 n=102	65.7%	5.9%	28.4%
要介護3～5 n=51	76.5%	0.0%	23.5%

④介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善しましたか

介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善したかについては、「はい」が48.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が41.9%、「いいえ」が9.7%となっています。

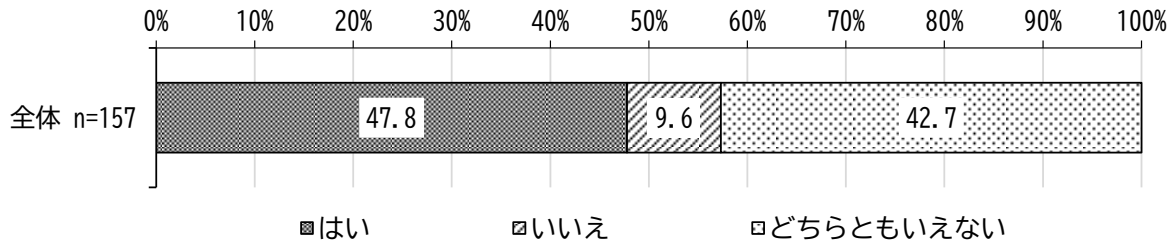


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=155	48.4%	9.7%	41.9%
要介護1・2 n=102	47.1%	8.8%	44.1%
要介護3～5 n=50	48.0%	12.0%	40.0%

⑤介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減りましたか

介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減ったかについては、「はい」が47.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が42.7%、「いいえ」が9.6%となっています。

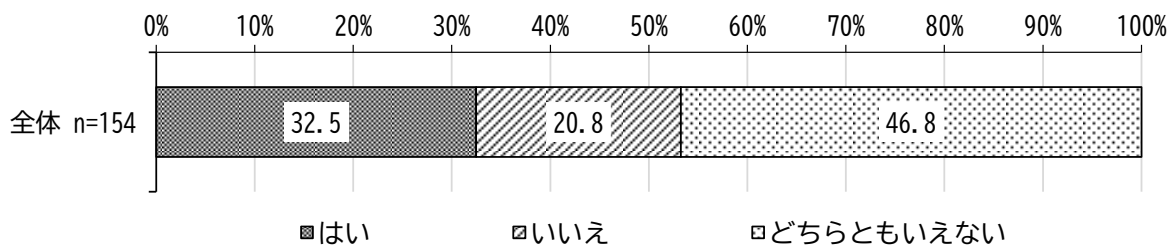


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=157	47.8%	9.6%	42.7%
要介護1・2 n=104	45.2%	11.5%	43.3%
要介護3～5 n=50	52.0%	6.0%	42.0%

⑥仕事や家事と両立できるようになったと思いますか

仕事や家事と両立できるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が46.8%で最も高く、次いで「はい」が32.5%、「いいえ」が20.8%となっています。

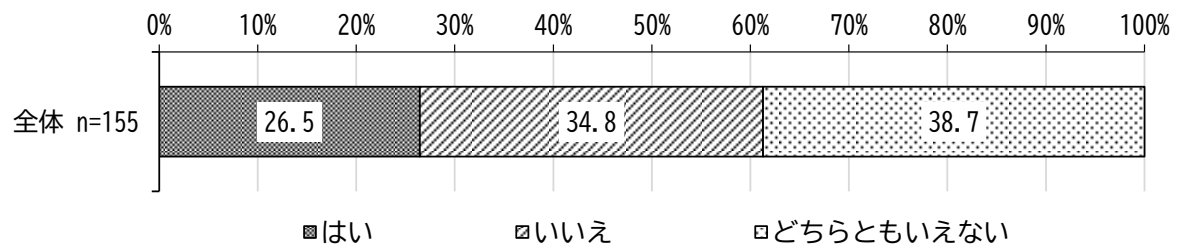


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=154	32.5%	20.8%	46.8%
要介護1・2 n=101	27.7%	23.8%	48.5%
要介護3～5 n=50	38.0%	16.0%	46.0%

⑦外出する機会が増えたと思いますか

外出する機会が増えたと思うかについては、「どちらともいえない」が38.7%で最も高く、次いで「いいえ」が34.8%、「はい」が26.5%となっています。

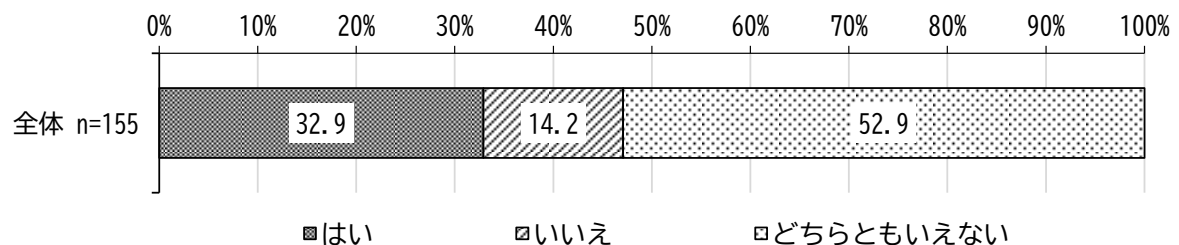


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=155	26.5%	34.8%	38.7%
要介護1・2 n=102	27.5%	35.3%	37.3%
要介護3～5 n=50	24.0%	32.0%	44.0%

⑧介護の方法がわかるようになったと思いますか

介護の方法がわかるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が52.9%で最も高く、次いで「はい」が32.9%、「いいえ」が14.2%となっています。



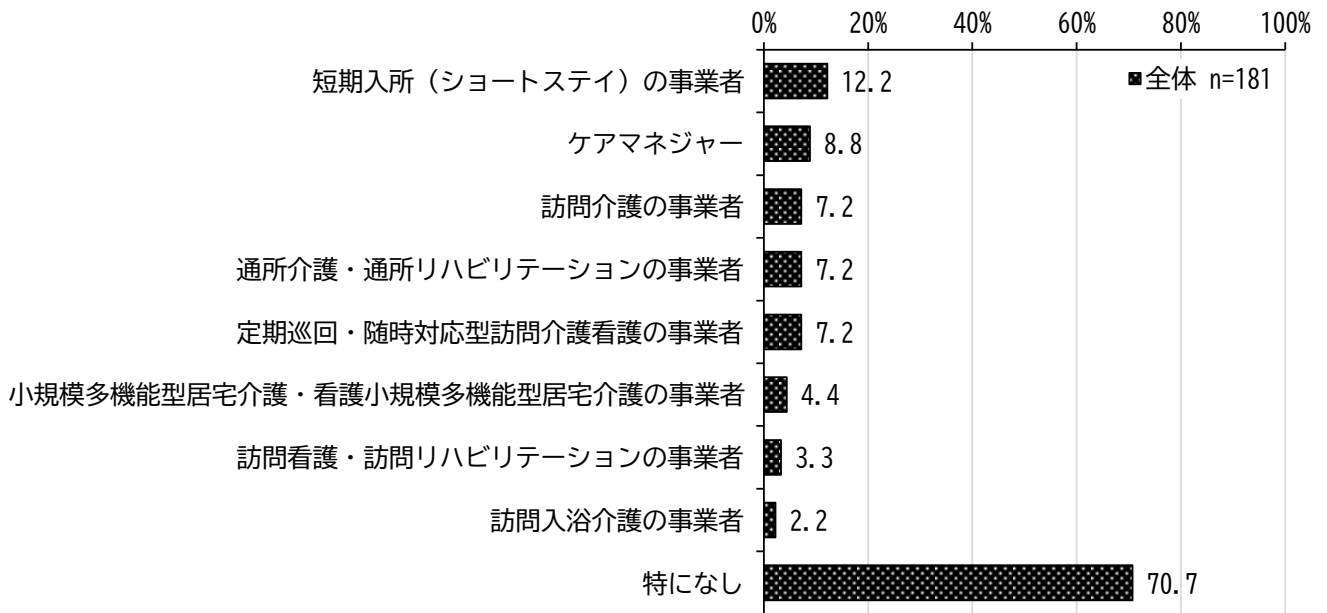
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=155	32.9%	14.2%	52.9%
要介護1・2 n=102	25.5%	15.7%	58.8%
要介護3～5 n=50	44.0%	12.0%	44.0%

問 10 在宅における介護保険サービス事業者の選択にあたり、なかなか見つからなかったサービス事業者にチェックを付けてください。(回答は3つまで)

在宅における介護保険サービス事業者の選択にあたり、なかなか見つからなかったサービス事業者については、「短期入所（ショートステイ）の事業者」が12.2%で最も高く、次いで「ケアマネジャー」が8.8%、「訪問介護の事業者」「通所介護・通所リハビリテーションの事業者」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業者」がともに7.2%となっています。

なお、「特になし」は70.7%となっています。

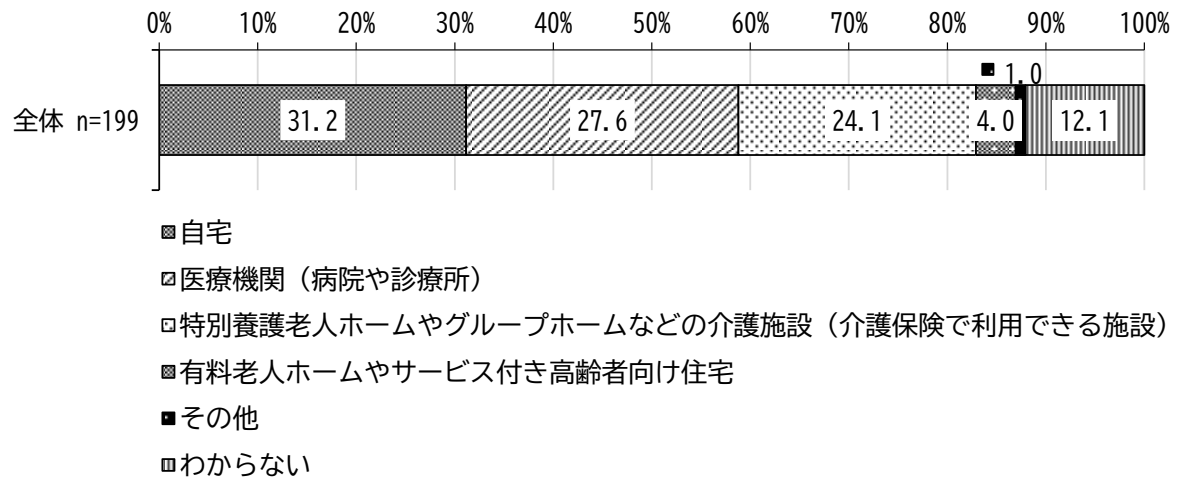


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	短期入所（ショートステイ）の事業者	ケアマネジャー	訪問介護の事業者	通所介護・通所リハビリテーションの事業者	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業者	小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護の事業者	訪問看護・訪問リハビリテーションの事業者	訪問入浴介護の事業者	特になし
全体 n=181	12.2%	8.8%	7.2%	7.2%	7.2%	4.4%	3.3%	2.2%	70.7%
要介護1・2 n=115	8.7%	7.8%	7.8%	6.1%	4.3%	3.5%	1.7%	2.6%	77.4%
要介護3～5 n=56	17.9%	7.1%	3.6%	8.9%	10.7%	7.1%	3.6%	1.8%	64.3%

問 11 ご家族が終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）を迎えたときに過ごしてほしい場所はどこですか。（回答は1つ）

家族が終末期を迎えたときに過ごしてほしい場所については、「自宅」が31.2%で最も高く、次いで「医療機関（病院や診療所）」が27.6%、「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設（介護保険で利用できる施設）」が24.1%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

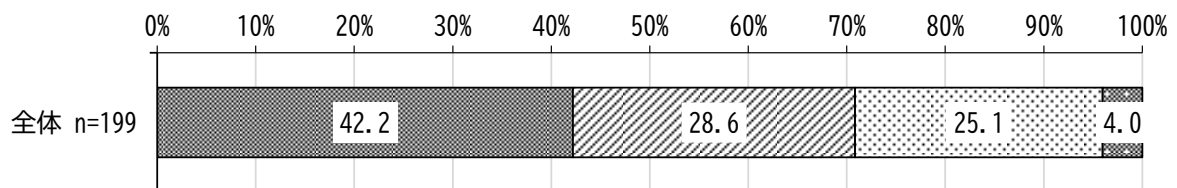
	自宅	医療機関 (病院や診療所)	特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設 (介護保険で利用できる施設)	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	その他	わからない
全体 n=199	31.2%	27.6%	24.1%	4.0%	1.0%	12.1%
要介護1・2 n=127	32.3%	28.3%	22.8%	3.9%	0.8%	11.8%
要介護3～5 n=60	28.3%	23.3%	30.0%	5.0%	1.7%	11.7%

問 12 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象（一部支給要件有り）に、紙おむつ給付事業を実施しています。

令和2年度より国県等の補助がなくなったことから、現在は介護保険料を財源として実施していますが、紙おむつの支給額は年々増加傾向にあり、今後の介護保険料への影響が予想されます。

今後、紙おむつ給付事業をどのように実施していくべきだと思いますか。（回答は1つ）

今後、紙おむつ給付事業をどのように実施していくべきかについては、「介護保険料が上がっても、現行どおりの内容（上限5,600円/月）で継続した方がよい」が42.2%で最も高く、次いで「介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい」が28.6%、「支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい」が25.1%となっています。



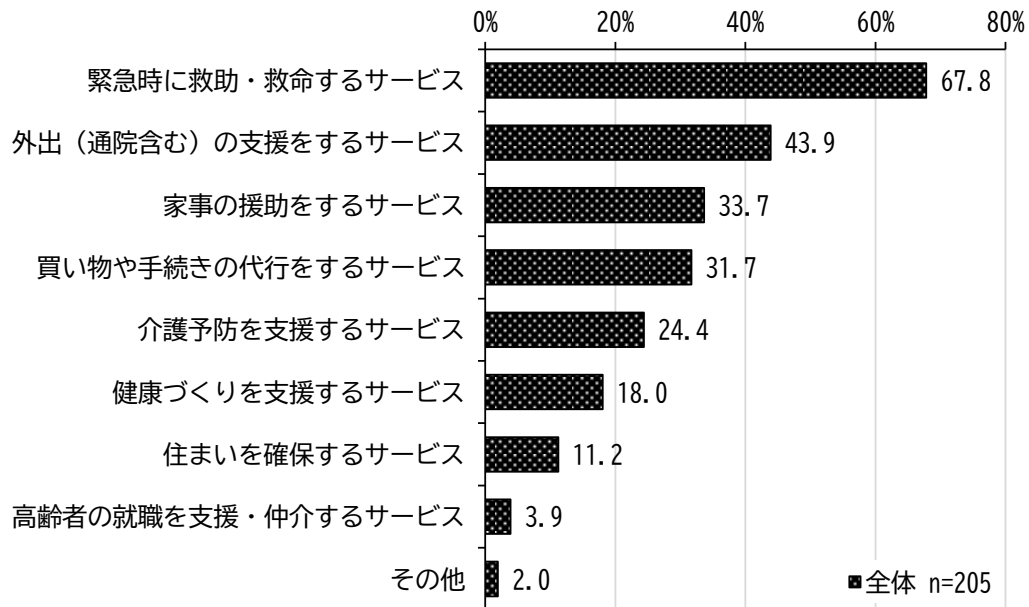
- 介護保険料が上がっても、現行どおりの内容（上限5,600円/月）で継続した方がよい
- 介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい
- 支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい
- 国や県の補助がない以上、市の独自制度として実施する必要性は低い

■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	介護保険料が上がっても、現行どおりの内容（上限5,600円/月）で継続した方がよい	介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい	支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい	国や県の補助がない以上、市の独自制度として実施する必要性は低い
全体 n=199	42.2%	28.6%	25.1%	4.0%
要介護1・2 n=130	44.6%	27.7%	23.1%	4.6%
要介護3～5 n=59	35.6%	28.8%	33.9%	1.7%

問 13 高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するためにはどのようなサービスが必要だと思いますか。（回答は3つまで）

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要だと思うサービスについては、「緊急時に救助・救命するサービス」が67.8%で最も高く、次いで「外出（通院含む）の支援をするサービス」が43.9%、「家事の援助をするサービス」が33.7%となっています。

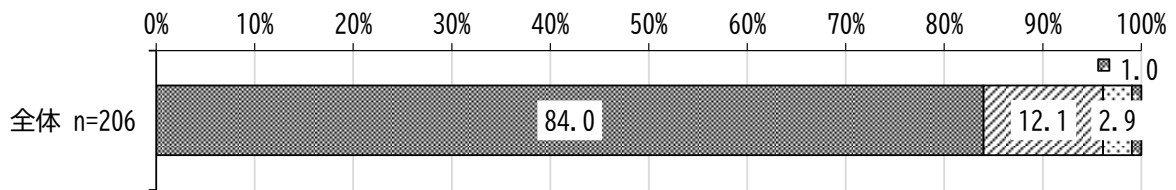


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	緊急時に救助・救命するサービス	外出（通院含む）の支援をするサービス	家事の援助をするサービス	買い物や手続きの代行をするサービス	介護予防を支援するサービス	健康づくりを支援するサービス	住まいを確保するサービス	高齢者の就職を支援・仲介するサービス	その他
全体 n=205	67.8%	43.9%	33.7%	31.7%	24.4%	18.0%	11.2%	3.9%	2.0%
要介護1・2 n=131	67.9%	45.8%	30.5%	32.8%	24.4%	17.6%	12.2%	5.3%	1.5%
要介護3～5 n=62	64.5%	43.5%	41.9%	32.3%	19.4%	14.5%	11.3%	1.6%	3.2%

問 14 現在、市では「独自制度」として、介護保険を利用している住民税非課税世帯の方を対象に、介護保険の自己負担額を一部助成する「利用者負担助成金制度」を実施しています。令和6年度においては、1,500人以上を対象に一般施策（財源は介護保険料ではなく市税など）として助成しておりますが、この制度についてどのようにお考えですか。（回答は1つ）

利用者負担助成金制度に対する考えについては、「必要な人が必要な介護サービスを利用できるように、今までどおり制度を継続したほうがよい」が84.0%で最も高く、次いで「対象者やサービスを限定するなど縮小して、一般施策として継続したほうがよい」が12.1%、「助成金の制度は必要ない」が2.9%となっています。



- 必要な人が必要な介護サービスを利用できるように、今までどおり制度を継続したほうがよい
- 対象者やサービスを限定するなど縮小して、一般施策として継続したほうがよい
- 助成金の制度は必要ない
- その他

■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	必要な人が必要な介護サービスを利用できるように、今までどおり制度を継続したほうがよい	対象者やサービスを限定するなど縮小して、一般施策として継続したほうがよい	助成金の制度は必要ない	その他
全体 n=206	84.0%	12.1%	2.9%	1.0%
要介護1・2 n=133	85.7%	11.3%	1.5%	1.5%
要介護3～5 n=61	78.7%	14.8%	6.6%	0.0%

第3章 要介護高齢者（本人） 調査結果のまとめ

1 あて名のご本人について

回答者の属性について、年齢では、前期高齢者が5.7%、後期高齢者が85.2%と、後期高齢者からの回答が多くなっています。

性別では、男性が34.0%、女性が51.9%と、女性からの回答が多くなっています。

要介護度では、要介護1が37.6%、要介護2が21.2%、要介護3が10.1%、要介護4が10.1%、要介護5が5.7%であり、要介護1・2が58.8%、要介護3～5が25.9%と、要介護1・2からの回答が多くなっています。

2 あなたのご家族や生活状況について

家族構成については、1人暮らしの割合が26.6%と、前回調査と比べて6.9ポイント増加しています。今後、高齢者人口の増加とともに、1人暮らしの高齢者世帯の増加が予測されます。

経済状況について、大変苦しい、やや苦しいの合計値は3割半ばという結果であり、昨今の物価高騰の状況を踏まえると、今後、経済的に苦しいと感じる方も増加していくことが予測されます。

3 からだを動かすことについて

1週間の外出頻度については、ほとんど外出しないが23.6%となっており、要介護度別でみると、要介護1・2が20.3%、要介護3～5が37.9%と、介護度があがると外出頻度は減少する傾向がみられます。

主な外出先については、デイサービスなどの通所施設、買い物をする場所、病院等の医療機関が上位に挙げられています。デイサービスなどの通所施設は、前回調査と比べて9.6ポイント増加しており、通所サービスの利用が拡大している状況がうかがえます。新型コロナウイルス感染症による外出規制の緩和に伴い、通所施設の利用が回復し、コロナ禍以前の状況に戻りつつある結果が反映されたと考えられます。

外出時の移動手段については、自動車（人に乗せてもらう）が約4割となっていますが、要介護度別でみると移動手段には異なる傾向がみられます。要介護1・2では自動車（人に乗せてもらう）が約5割と、家族等の支援により移動している状況がうかがえます。一方、要介護3～5では病院や施設のバス、車いすの割合が3割台と高く、介護度が高くなるにつれて、より支援を必要とする移動手段へと移行している傾向がみられます。

4 毎日の生活について

日常生活の困りごとについては、買い物に行くのが困難、日常の力仕事、外出の際の移動手段が上位に挙げられており、身体機能の低下による生活上の支障が大きいことがうかがえます。一方で、高齢者一般・要支援高齢者では上位に挙げられていたスマートフォン等の扱いは、要介護高齢者では2割前半にとどまっています。介護度の違いにより生活上の支障にも差が生じていることから、状態に応じた生活支援が重要であると考えられます。

5 地域の活動について

地域との関係に対する考え方については、お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたいが前回調査と比べて 2.8 ポイント増加、いざというときに助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたいが 2.2 ポイント増加しており、地域とのつながりを前向きに捉える傾向がみられます。新型コロナウイルス感染症が地域のかかわりに与えていた影響も小さくなっている中、今後は地域との前向きなかかわりを後押しできるよう、無理のない関係づくりや交流機会の創出を通じて、地域で支えあえる関係を構築していくことが重要であると考えられます。

6 健康について

アドバンス・ケア・プランニングの認知度は、知らないが約 7 割と、高齢者一般・要支援高齢者と同様に、社会全体への浸透は進んでいない状況がうかがえます。アドバンス・ケア・プランニングは、終末期における本人の意思決定を支援するプロセスであることから、引き続き、普及啓発を進めていく必要があると考えられます。

終末期の在宅生活で不安に感じることについては、家族の介護等の負担が心配、急変などがあった場合の対応体制が心配、自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配が上位に挙げられており、在宅生活を支える家族の負担や医療・介護体制への不安が大きいことがうかがえます。また、これらの上位の項目を要介護度別にみると、要介護 3～5 に比べて要介護 1・2 の割合が高くなる傾向がみられます。比較的軽度な状態にある方ほど、今後の生活の変化を見据え、将来への不安を強く感じている傾向がみられます。終末期における在宅生活の実現に向けては、家族支援の強化や事前の話し合いの促進を図り、本人が望む場所で安心して最期を迎えられる環境整備が重要であると考えられます。

7 認知症施策について

自分が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいとする人は 5 割半ばである一方で、実際に安心して暮らしていけると思う人は 2 割後半にとどまっており、高齢者一般・要支援高齢者の結果と同様に希望と現実の間に差が生じています。要介護高齢者では、既に認知症のある方やその家族が含まれていることを踏まえると、将来への備えという側面だけでなく、現在進行形の課題として捉える必要があります。引き続き、家族支援の強化や相談支援の充実を図り、認知症のある方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活を継続できる地域づくりが重要であると考えられます。

8 市の施策・事業、介護保険制度について

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、移送サービス、外出同行、掃除・洗濯が上位に挙げられています。要介護度別にみると、要介護 1・2 では、日常生活を支える支援の割合が要介護 3～5 に比べて高い傾向がみられます。比較的軽度な介護度にある方のほうが、在宅生活を維持するための生活支援のニーズが高い傾向がみられることから、介護度に応じた在宅支援体制の整備が重要であると考えられます。

介護保険料については、前回調査との比較では、負担とは感じない、それほど負担とは感じないが 2.2 ポイント増加している一方で、多少負担を感じる、負担と感じるが 3.2 ポイント減少しています。

紙おむつ給付事業については、介護保険料が上がっても、現行どおりの内容で継続した方がよいをみると、要介護 1・2 では 4 割前半、要介護 3～5 では 3 割半ばとなっており、現行どおりの内容で継続を望む方が多い傾向にあります。

第4章 要介護高齢者（介護者） 調査結果のまとめ

1 調査票を記入される方について

調査票に記入される方は、主に介護している方が85.6%、その他が14.4%となっています。

2 介護をしている方について

介護者の属性について、年齢では、60歳代が27.7%で最も高く、次いで50歳代、80歳以上がともに23.8%となっています。

性別では、男性が28.5%、女性が71.0%となっています。介護を受けている方からみる介護者の続柄としては、妻、娘の割合が高く、前回調査との比較では、妻が12.5ポイント減少し、娘が13.6ポイント増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、介護の担い手にも一定の影響を及ぼしていたことがうかがえます。

3 主に介護している方の生活状況について

介護をするうえで困っていることについては、身体的・精神的負担が大きいこと、自由になる時間がもてない、経済的負担、手助けがない、見通しが立たないが上位に挙げられています。介護者の負担軽減に向けては、日々の介護によるストレスや不安を安心して相談できる環境整備を進め、介護者を地域全体で支える体制の充実が求められていると考えられます。

介護についての相談先については、前回調査と同様にケアマネジャーが7割台で最も高く、家族・親族の割合を上回っています。専門職であるケアマネジャーが、家族に次ぐ存在ではなく、介護者にとって最も主要な相談先となっている状況がうかがえます。ケアマネジャーが本人や介護者に寄り添いながら、専門的知見を生かして関係機関との連携を図り、安心して在宅生活を継続できるよう支援していくことが重要であると考えられます。

介護の負担感については、要介護度別でみると、かなり負担である、やや負担であるの合計値は、要介護1・2が72.9%、要介護3～5が79.1%と、介護度があがると負担感も高まる傾向がみられます。

負担感を抱える介護者が、介護の負担を軽減するために行っている取組については、地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談しているが63.5%と最も高く、前回調査と比べて5.8ポイント増加しています。専門職への相談を通じて負担軽減を図っている状況がうかがえます。また、要介護度別にみると、要介護1・2では、自分の趣味などでストレスを解消している割合が要介護3～5に比べて高く、日常生活の中での気分転換により負担軽減を図っている傾向がみられます。

4 市の施策・事業、介護保険制度について

介護保険サービスの利用により得られた結果については、前回調査と同様に、身体的・精神的負担が軽減されたとの割合が他の項目に比べて高く、サービス利用が介護者の負担軽減に一定の効果をもたらしていることがうかがえます。

在宅における介護保険サービス事業者の選択にあたり、なかなか見つからなかったサービスについては、特になしが7割を超えているものの、短期入所（ショートステイ）の事業者が他の項目に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、短期入所（ショートステイ）の事業者は、要介護3～5では1割後半と、要介護1・2よりも割合が高くなっており、介護度が高くなるほど短期入所のニーズが高いことがうかがえます。

紙おむつ給付事業について、介護者の立場からは、介護保険料が上がっても、現行どおりの内容で継続した方がよいが4割前半と、現行どおりの内容で継続を望む方が多い傾向にあります。

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要だと思うサービスについては、前回調査と同様に、緊急時に救助・救命するサービス、外出の支援をするサービスが上位に挙げられています。

利用者負担助成金制度については、必要な人が必要な介護サービスを利用できるように、今までどおり制度を継続したほうがよいが8割前半を占めており、制度の継続を望む意向が示されています。物価上昇が続く中、利用者負担の軽減は在宅生活の継続に必要な支援であると認識されていることがうかがえます。